

平成22年度
事業報告書



社会福祉法人 市原市社会福祉協議会

目 次

1. 組織運営事業	1 頁
2. 支部運営事業	5
3. 支部役員研修事業	6
4. 民生委員等活動推進事業	7
5. こどものあそびば整備事業	8
6. 介護予防教室事業	8
7. 援護事業	9
8. 共催・後援等事業	10
9. 歳末たすけあい運動協力事業	11
10. 広報事業	12
11. 在宅福祉推進事業	13
12. 地域福祉活動推進事業	21
13. ボランティアセンター運営事業	28
14. 市民活動センター運営事業	33
15. 敬老会事業	35
16. 生活福祉資金貸付事業	37
17. 高齢者及び重度障害者居室等増改築・改造資金貸付事業	37
18. 心配ごと相談所設置事業	37
19. 療養資金貸付事業	38
20. 福祉資金貸付事業	39
21. 社会福祉基金管理・運用事業	39
22. 指定管理施設管理経営事業	40

1. 組織運営事業

(1) 理事会及び評議員会

健全な社会福祉事業の経営と公正な法人運営を維持するため、次のとおり理事会、評議員会を開催した。

項 目	期 日	議 案 等
監査	5月24日	平成21年度分監査
第1回理事会 (19名出席)	5月26日	議案第1号 平成21年度事業報告の承認について 議案第2号 平成21年度決算の承認について(監査報告) 議案第3号 平成22年度第1回補正予算案について 議案第4号 任期満了に伴う評議員の委嘱について
第1回評議員会 (31名出席)	5月26日	議案第1号 平成21年度事業報告の承認について 議案第2号 平成21年度決算の承認について(監査報告) 議案第3号 平成22年度第1回補正予算案について
第2回評議員会 (41名出席)	6月10日	議案第1号 任期満了に伴う役員の選任について
第2回理事会 (15名出席)	6月16日	議案第1号 任期満了に伴う会長の選任について 議案第2号 任期満了に伴う副会長の選任について - 常務理事の指名について - 議案第3号 育児・介護休業等に関する規則の制定について 議案第4号 就業規則の一部改正について 議案第5号 嘱託職員就業規則の一部改正について 議案第6号 市原市社会福祉協議会経営委員会設置要綱の一部改正 について 議案第7号 初動体制マニュアル(改訂案)について 議案第8号 災害ボランティアセンター運営マニュアル(案)について 議案第9号 指定管理施設の応募について
第3回理事会 (18名出席)	12月22日	議案第1号 専決処分の承認を求めることについて 議案第2号 平成22年度第2回補正予算(案)について 議案第3号 職員勤務成績評定実施規則の一部改正について 議案第4号 給与規程の一部改正について 議案第5号 会計規程の一部改正について 議案第6号 市原市社会福祉協議会指定訪問介護事業所運営規程の一部 改正について 議案第7号 市原市社会福祉協議会指定介護予防訪問介護事業所運営規程 の一部改正について 議案第8号 生活福祉資金・高齢者及び重度障害者居室等増改築・改造 資金調査委員会設置規程の廃止について 議案第9号 市原市市民活動センター設置及び管理に関する要綱の一部 改正について

		議案第10号 評議員の委嘱について
第3回評議員会 (30名出席)	12月22日	議案第1号 平成22年度第2回補正予算案について 議案第2号 理事の選任について
第4回理事会 (19名出席)	3月書面開催	議案第1号 平成22年度第3回補正予算(案)について 議案第2号 定款の一部変更について 議案第3号 就業規則の一部改正について 議案第4号 嘱託職員等就業規則の制定について 議案第5号 育児介護休業等に関する規則の一部改正について 議案第6号 給与規程の一部改正について 議案第7号 会計規程の一部改正について 議案第8号 指定管理施設管理規程の一部改正について 議案第9号 事務局規程の一部改正について 議案第10号 職員の職の設置及び職務分類に関する規程の一部改正について 議案第11号 処務規程の一部改正について 議案第12号 市原市市民活動センター設置及び管理運営に関する要綱の制定について 議案第13号 市原市市民活動センターに勤務する職員の勤務時間等に関する規程の制定について 議案第14号 市原市社会福祉協議会経営委員会設置要綱の一部改正について 議案第15号 ふれあいサロン事業実施要綱の制定について 議案第16号 平成23年度事業計画(案)について 議案第17号 平成23年度予算(案)について 議案第18号 平成23年度第4回評議員会における書面表決について 議案第19号 施設長等の任免について 議案第20号 支部設置規程の一部改正について
第4回評議員会 (34名出席)	3月書面開催	議案第1号 平成22年度第3回補正予算(案)について 議案第2号 定款の一部変更について 議案第3号 平成23年度事業計画(案)について 議案第4号 平成23年度予算(案)について

(2) 経営委員会（平成21年1月設置）

「市原市地域福祉活動計画」及び「事務事業経営改善計画」の進捗状況、達成度を評価、見直しするとともに、あわせて経営基盤の強化や事務事業のあり方について検討し、法人組織の活性化を図ることを目的として設置した。

項目	期 日	内 容
第1回	6月1日	地域福祉活動計画推進方策について (1) 初動体制マニュアル（修正案）について (2) 災害ボランティアセンター運営マニュアル（修正案）について
第2回	9月24日	(1) 委員長及び副委員長の選出について (2) 法人の課題について
第3回	2月22日	(1) 平成23年度以降の新たな体制（案）について (2) 第2次事務事業経営改善計画骨子（案）について (3) 第4次市原市地域福祉活動計画骨子（案）について

(3) 役員研修

研 修 内 容	研 修 内 容	期 間	研修場所	受講者数
命を大切にす講演会	自殺問題を公私が協働し、関係機関・団体の連携連動を進めるとともに、地域福祉に携わる関係者が自殺の現状を受け止め、支援のあり方について学び、救いの手を差し伸べるための一助とする。	7月23日	市民会館 小ホール	32名
平成22年度社会福祉トップセミナー	今後の社会保障・社会福祉制度のあり様を考えるとともに、社会福祉関係者の役割を確認し、今後の方向性を展望することを目的とする。	9月21日 ～ 22日	全社協	2名

(4) 職員研修

「職員研修規程」に基づき、職務の遂行に必要な資格、知識及び技術を習得させるとともに、社会福祉の向上に資するため次のとおり実施した。

①自主研修

研 修 内 容	研 修 内 容	期 間	研修場所	受講者数
第16回地域福祉実践研究セミナー	鴨川市を舞台として、全国からの参加者とともに、新しい地域福祉実践とコミュニティソーシャルワークのあり方を考える。	8月26日 8月28日	鴨川市内	3名
千葉社協職員連絡協議会研修会	話す力のスキルアップ	10月30日	県社会福祉センター	3名

②職場研修

研 修 内 容	研 修 内 容	期 間	研修場所	受講者数
第1回職員研修	市原市社協のめざす方向と、求められる職員像について	4月28日	事務局	25名
市総合防災訓練	避難所訓練、災害ボランティアセンター設置訓練、ボランティア組織の連絡・参集訓練	9月4日	戸田小学校	17名
第2回職員研修	人事考課制度について	11月26日	事務局	27名
第3回職員研修	地域福祉を担える職員になるために	2月22日	事務局	25名
	実務研修① ・民児協、ネットワークほか	2月1日 ～3月14日	市内	25名
	実務研修② ・地域福祉計画及び活動計画の概要ほか	2月28日 ～3月22日	事務局	25名

③職場外研修

ア) 一般研修 (市原市職員研修所主催研修受講)

研 修 名	研 修 内 容	期 間	研修場所	受講者数
採用12年目職員	自身のキャリアについて(キャリア開発)	10月21日 22日	市原市役所	4名

イ) 派遣研修

研 修 名	研 修 内 容	期 間	研修場所	受講者数
社会福祉法人経営者研修会	人事管理に必要な視点の習得	9月7日 ～9月9日	中央福祉学院	1名
市町村社協基幹職員研修会	市区町村社協の運営管理に求められる考え方や具体的な手法等の修得	8月25日 ～8月27日	全国社会福祉協議会	1名
	コミュニティワークの基本、記録・事例検討法、個別支援ケースの捉え方・関わり方、コミュニティワーカーの専門性の向上	11月15日 ～11月17日	全国社会福祉協議会	1名
市町村社協管理職員研修会	管理職員が自らの組織の置かれている状況を見極め、将来的なあり方を設定・検討するための必要な知識、職員育成・組織運営管理の基本的な考え方	1月12日～ 1月14日	中央福祉学院	2名

社会福祉法人会計実務者講座	社会福祉法人会計基準に基づく知識、技術の習得	10月1日 ～2月19日	中央福祉学院	1名
千葉県コミュニティソーシャルワーカー育成研修(専門研修)	コミュニティソーシャルワークの援助技術や実践力の修得	12月7日 1月15日 1月16日 3月5日 3月6日	千葉商工会議所	7名

2. 支部運営事業

各支部間の連絡調整及び資質の向上を図るとともに、小地域(支部)における福祉の増進を図ることを目的として次のとおり支部連絡協議会を開催した。

項目	期日	議 題
第1回支部連絡協議会 (17名出席)	5月21日	1) 支部連絡協議会会長・副会長の選出について 2) 市原市社会福祉協議会理事及び評議員の推薦について 3) 平成22年度以降の敬老会事業の基本方針について 4) 敬老会事業事務作業予定について 5) ふれあい・いきいきサロン事業(食事サービス)に伴う細菌検査予定について 6) ふれあい・いきいきサロン、子育てサロンの実施内容調査について
第2回支部連絡協議会 (40名出席)	6月25日	1) ふれあい・いきいきサロン事業(食事サービス)に伴う細菌検査予定について 2) 平成22年度歳末たすけあい運動「地域福祉支援事業」について 3) 「命を大切にす講演会」について 4) 平成22年度敬老会事業について 5) 平成22年度福祉バザーについて
第3回支部連絡協議会 (30名出席)	1月26日	1) 平成22年度敬老会事業実施結果報告及び今後について 2) 地区社協化に向けた計画(案)について 3) 地区社協化に伴う支部助成金見直し(案)について
第4回支部連絡協議会 (28名出席)	2月28日	1) 第4次市原市地域福祉活動計画骨子(案)について 2) 地区社協化計画策定に向けた基本的な考え方について 3) 地区社協化に伴う支部助成金見直し(案)について

3. 支部役員研修事業

小地域福祉活動を推進する上で、支部役員が福祉活動について研究・協議し、より一層の充実・強化を図るために実施した。

支 部 名	期 日	場 所	内 容
姉 崎 (30名参加)	2月20日～ 2月21日	山梨県南都留郡富士河口湖町	・山梨県立介護実習普及センター視察 ・平成22年度事業反省及び平成23年度事業計画について
五 井 (35名参加)	2月17日	東京都江東区有明	・東京臨海広域防災公園
市 原 (29名参加)	1月23日～ 1月24日	長野県松本市	・小域福祉ネットワークの設置について ・平成23年度支部事業計画について
辰巳台 (55名参加)	2月5日～ 2月6日	千葉県勝浦市	・「住民参加と協働による“福祉でまちづくりへの取組みについて”～基調説明～ ・実践発表 ・分科会 ・総合討論
市 津 (37名参加)	2月9日	千葉県袖ヶ浦市	・小域福祉ネットワークの設置について
三 和 (15名参加)	11月28日～ 11月29日	静岡県伊豆の国市	・老人休養ホーム「寿荘」視察
南 総 (40名参加)	2月4日	千葉県九十九里町	・「安心生活創造事業」「地区社協化」についての講義
加 茂 (15名参加)	10月24日～ 10月25日	岐阜県高山市	・支部活動について意見交換
有 秋 (27名参加)	11月28日～ 11月29日	静岡県賀茂郡東伊豆町	・災害時における社協支部役員としての関わり方について意見交換
ちはら台 (36名参加)	2月19日	茨城県つくば市	・「地区社協化」についての講義 ・次世代介護機器視察(サイバーデザイン)

4. 民生委員活動推進事業

市原市民生委員児童委員協議会の事務局として、その活動の推進を図った。

期 日		事 業 名	人数	場 所
月	日			
4	26	会計監査	6名	市社協
	27	第1回理事会	13名	市社協
		代議員会	29名	市社協
5	11	県民児協第1回理事会	1名	県社会福祉センター
	20～21	郡市会長・事務担当者会議	2名	鴨川市
	31	県民児協第1回自立支援対策問題研修部会	1名	県社会福祉センター
7	16	第16回千葉県民生児童委員大会	64名	県文化会館
	23	市民児協全体研修会	273名	市民会館小ホール
8	11	六市会長・副会長研修会	4名	習志野市
	23	県民児協第2回自立支援対策問題研究部会	1名	県社会福祉センター
9	10	県民児協第2回理事会	1名	県社会福祉センター
	16～17	市町村社協相談事業研究協議会	3名	鴨川市
	27	県単位民児協会長研修会	7名	県労働者福祉センター
10	12	県主任児童委員研修会	4名	千葉市市民会館
	18	県民児協第3回自立支援対策問題研究部会	1名	県社会福祉センター
	20	市民児協第1回地域福祉推進部会	21名	市社協
	29～30	第79回全国民生委員児童委員研修会	1名	島根県松江市
11	19	千葉県社会福祉大会	7名	青葉の森芸術文化ホール
	24～25	市民児協理事及び心配ごと相談員合同研修会	24名	鴨川市
	29	市民児協第1回主任児童委員部会	17名	市社協
12	1	一斉改選	494名	市民会館
	9	市民児協第2回理事会	13名	市社協
		市民児協第2回主任児童委員部会	17名	市社協
		市民児協第2回地域福祉推進部会	18名	市社協
1	27	県民児協第3回理事会	1名	市社協
	26	新任民生委員児童委員研修会	113名	袖ヶ浦市市民会館
2	10	新任単位民児協会長研修会	6名	千葉市市民会館
	25	活動記録作成講習会及び災害時民生委員活動研修会	11名	県労働者福祉センター
	25	市民児協第3回主任児童委員部会	18名	市社協
3		県民児協第3回理事会	1名	書面評決
4月1日～ 3月31日		慶弔事業	6件	本人死亡1件 本人傷病1件 配偶者傷病4件

※地区民児協ごとに研修会を実施

5. こどものあそびば整備事業

子供たちを交通事故から守り、健全に育成することを目的として、設置した小規模なあそびばの管理に努めた。

(こどものあそびば一覧表)

No.	設置場所	設置年月日	敷地面積	No.	設置場所	設置年月日	敷地面積
1	権現堂 24	S45. 3. 31	396㎡	9	平蔵 2180	S56. 6. 29	450㎡
2	白塚 609-1	S48. 6. 28	200㎡	10	田尾 1132-2	S57. 6. 15	1,000㎡
3	吉沢 238-1	S50. 5. 28	1,092㎡	11	山小川 375	S58. 5. 18	1,000㎡
4	浅井小向 112	S52. 9. 14	297㎡	12	万田野 165-1	S59. 6. 12	1,000㎡
5	中野 55-1	S53. 3. 17	150㎡	13	馬立字五反新田 2008-5	S62. 3. 16	180㎡
6	平野 241	S54. 9. 18	500㎡	14	堀越 60	H 1. 5. 27	580㎡
7	相川 93	S54. 9. 18	1,300㎡	15	神代宮の越 265	H 2. 5. 29	975㎡
8	櫃挾 290	S55. 7. 8	200㎡	16	喜多 906-9	H 5. 2. 3	600㎡

6. 介護予防教室事業

具体的な介護の予防方法について学ぶと共に、地域での健康についての関心を深め、住みよい地域づくりを推進するため、10支部18会場で実施した。

支部名	期 日	場 所	受講者数	内 容
姉 崎	10月29日	アネッサ体育室	127名	・健康漫談 軽体操
五 井	10月24日	千種コミュニティセンター	27名	・講義「認知症と在宅介護について」
	11月14日	五井西コミュニティセンター	40名	
市 原	6月21日	八幡公民館	48名	・筋力維持向上体操、メボリック対策
辰 巳 台	7月27日	辰巳公民館	53名	・その場で出来る簡単な介護予防体操
	10月26日		42名	・介護予防講座及び軽体操
	1月24日		57名	・介護予防講座及び軽体操
市 津	11月9日	市津消防署	24名	・骨盤低強化体操
三 和	6月26日	光風台自治会館	26名	・健康体操
	1月20日	三和コミュニティセンター	29名	・物忘れ、寝たきりの防止 ・介護予防体操
南 総	戸田地区 7月11日	梅香苑	16名	・認知症の人の介護と予防体操 ・筋力UP体操
	寺谷地区 7月11日	小勝山自治会館	48名	
	鶴舞地区 7月4日	クレイン	27名	
	内田地区 7月4日	原田公民館	22名	
	平三地区 7月4日	宿滝町会集会所	35名	

	牛久地区 7月4日	南総公民館	15名	
加茂	2月24日	(社福)昭和村 市原園デイサービスセンター	64名	・講義「腰痛を予防する為に、家庭で出来る体操について」 ・講義「加茂南総地区の老人福祉施設と介護サービスについて」
有秋	6月14日	椎の木自治会館	51名	・講義「認知症のサインを見逃さないために」 ・軽体操
	10月20日	有秋支所会議室	18名	
ちはら台	12月18日	ちはら台コミュニティセンター	42名	・身体バランス、リフレクソロジーの紹介、踏んばり足体操

7. 援護事業

(1) 応急法外援護

低所得で、かつ福祉関係法律の適用を受けられない方に対し、応急的な生活費として少額の資金を交付した。

平成21年度		平成22年度		前年度比較増減	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
264件	848,468円	299件	1,090,980円	35件	242,512円

(2) 歳末たすけあい援護

歳末にあたり、みんながそろって明るいお正月を迎えられるよう、生活困窮世帯、心身障がい者(児)、交通遺児の方々に見舞金を配布した。また、今年度より年末の時期に支援を必要とする人が安心して暮らすことのできる地域社会づくりの取り組みを推進するため、地域福祉活動を行う団体に助成を行った。

内 容	金 額
生活困窮世帯見舞	3,609,000円 (1世帯あたり 8,000円×333世帯=2,664,000円) (構成員増額分 3,000円×135名 = 945,000円)
心身障がい者(児)見舞	225,000円 (1名あたり 5,000円×45名)
交通遺児見舞	256,000円 (1名あたり 8,000円×32名)
地域福祉支援	522,000円 (11団体)
合 計	4,612,000円

(3) 交通遺児援護激励見舞金(県社協)

陸上交通により、親または親に代わる方が死亡した小学校・中学校に入学する遺児に対しては、勉学奨励金を、中学校を卒業する遺児に対しては、図書券を添えて激励金を支給した。

区 分	件 数	金 額	備 考
勉学奨励金	0件	0円	中学校入学今年度なし
激励金	3件	150,000円	中学校卒業3名
図書カード	3件	*****	奨励金・激励金支給対象者全員(10,000円相当)
支 給 額 合 計		150,000円	*****

8. 共催・後援等事業

社会福祉施設・団体との連携することにより地域福祉活動を促進するため、次のとおり後援及び協賛を行った。

(1) 後援事業

事業名	期日	会場	実施主体及び内容
第22回市原市ちびっ子ファミリーフェスティバル	5月8日	市原市文化の森	<u>市原市ちびっ子ファミリーフェスティバル実行委員会(市原市青少年育成団体連絡会議)</u> 市内で活動する青少年健全育成団体が共同して実行委員会を組織し、子供達に遊びを通じて社会性と創造性を培うことを目的として実施した。
ちはら台保育園バス遠足	5月21日	草ぶえの丘	<u>ちはら台保育園</u> 園児、保護者、職員の親睦を深めることを目的に実施した。
第12回特連文化フェスティバル	12月10日	市原市立ちはら台南中学校	<u>市原市特別支援教育研究連盟</u> 市内の特別支援学級及び支援学校に在籍する児童生徒による学習発表会を行い、特別支援教育に対する理解を深めるとともに交流を図ることを目的に実施した。
一般公開ケース研究会	7月10日	ちはら台支所・ちはら台コミュニティセンター	<u>市原地区保護司会</u> 社会を明るくする運動の一環として、地域活動の推進による、青少年の非行防止と更生の援助等を目的に実施した。
第44回青少年のつどい市原市大会	8月22日	中央武道館他	<u>市原市青少年相談員連絡協議会</u> 次代を担う青少年が、スポーツを通じて相互の親睦と友情を深め、青少年としての自覚と誇りを高めると共に、健康な体力づくりを目指し、青少年の健全育成を目的に実施した。
第27回平和園手づくりコンサート	8月22日	市原市市民会館	<u>児童養護施設 平和園</u> 日頃の練習成果を発表する場として平和園児童(音楽クラブ員)の音楽発表会を実施した。
市原市老人クラブ会員作品展	10月30日 ～ 12月2日	市原市消防局	<u>市原市老人クラブ連合会</u> 老人クラブ会員の作品を公開展示し、地域住民に老人のもつ経験と技術の周知を図り、また、趣味の活動を通じて親睦を深め高齢者の生活をより豊かなものにするを目的に実施した。
第28回市原市障がい者スポーツ大会	11月3日	八幡運動公園	<u>市原市</u> 市内の障がい者がスポーツを通じて、体力の維持増強と「ふれあいとやさしさ、潤いのある生活ができるまち」の実現を目的に実施した。

第22回親子ふれ合い大会	11月23日	八幡運動公園	市原市子ども会育成会連絡協議会 子ども達、保護者、家族がさまざまなゲームを通して楽しい一日を過ごすことを目的に実施した。
はくちょう保育園お遊戯会	1月22日	はくちょう保育園	はくちょう保育園 園児、保護者、職員の親睦を深めることを目的に実施した。
市原刑務所慰問	毎月	市原刑務所	市原地区更生保護女性会 団体の目的遂行の具体的活動として市原刑務所へ毎月の誕生会の慰問を実施した。
重度障がい者も参加できる「バリアフリースポーツ」教室	毎月	三和保健福祉センター、三和コミュニティセンター	市原市中心身障害者福祉団体連絡協議会 地域の障がい者・高齢者・子どもたちが共にスポーツを楽しみ、明るい仲間作りをし、地域と交流を持つことを目的に実施した。

(2) 協賛事業

事業名	期日	会場	実施主体及び内容
第37回市原高滝湖マラソン大会	1月8日	高滝湖畔、市原市立高滝小学校	市原高滝湖マラソン大会実行委員会 市民の生涯スポーツの普及・振興を目的に誰もが気軽に仲間を誘い合い、多くの方々に参加いただき、実施した。

9. 歳末たすけあい運動協力事業

歳末たすけあい運動への協力として、福祉バザーを7支部で、歳末たすけあい募金を3支部で実施した。

福祉バザー開催実績

支部	実施日	会場	売上金	寄付金等	合計
姉崎	11月14日	姉崎公民館	604,400	7,080	611,480
辰巳台	11月28日	辰巳公民館	273,750	12,570	286,320
市津	10月24日	市津公民館	408,774	222,855	631,629
三和	11月14日	三和コミュニティセンター	302,640	47,252	349,892
南総	10月17日	南総公民館	701,600	59,000	760,600
有秋	10月31日	有秋公民館	237,940	3,900	241,840
ちはら台	11月7日	ちはら台コミュニティセンター	172,940	2,468	175,408
合 計			2,702,044	355,125	3,057,169

歳末たすけあい募金

支 部	募 金 額
五 井	1,559,790
市 原	1,119,770
加 茂	191,800
合 計	2,871,360

福祉バザー・歳末たすけあい募金	
総 額	: 5,928,529 円

10. 広報事業

社会福祉への意識の高揚と社協の活動・事業への理解、認識の向上を目的に広報活動を行った。

(1) 機関紙「いちほら社協だより」の発行

98,350部を年6回印刷し、新聞折込みにより市内各世帯に配布した。

号 数	190号	191号	192号	193号	194号	195号
発行日	5月5日	7月5日	9月5日	11月5日	1月5日	3月5日
頁 数	2頁	2頁	2頁	2頁	2頁	2頁

(2) 情報誌「ボランティア・NPO通信」の発行 ※3月号よりリニューアルし「iほっと通信」として発行

3,900部を月1回発行し、登録ボランティア、関係機関、一般市民に配布した。

号 数	154号	155号	156号	157号	158号	159号	臨時号
発行日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	9月15日
頁 数	6頁	6頁	6頁	6頁	6頁	6頁	8頁

号 数	160号	161号	162号	163号	164号	プレ創刊号
発行日	10月1日	11月1日	12月1日	1月1日	2月1日	3月20日
頁 数	6頁	6頁	6頁	6頁	6頁	4頁

(3) ホームページの運営

インターネットの活用により、ホームページによる市民への情報提供の迅速化を図った。

市原市社会福祉協議会ホームページ：<http://www.ichihara-shakyo.or.jp>

11. 在宅福祉推進事業

(1) ホームケアサービス事業

市民の参加と協力によって、在宅の高齢者や心身障がい者及び母子・父子家庭等で家事援助等の福祉サービスを必要としている市民を対象に有償の在宅福祉サービスを提供して、支えあい・助け合いによる地域ぐるみ福祉の増進を図った。

- ・利用者登録者 88名 (平成23年3月31日現在)
- ・協力会員登録者 49名 (")
- ・活動状況

月	利用者数(名)			活動協力会員数(名)			活動日数(日)			活動時間数(時間)		
	H22度	H21度	増減	H22度	H21度	増減	H22度	H21度	増減	H22度	H21度	増減
4	9	11	▲2	7	10	▲3	31	37	▲6	55	71	▲16
5	10	12	▲2	8	9	▲1	33	34	▲1	65	70	▲5
6	10	11	▲1	8	9	▲1	40	42	▲2	76	86	▲10
7	10	11	▲1	8	9	▲1	36	48	▲12	67	97	▲30
8	10	12	▲2	8	7	1	39	40	▲1	72	81	▲9
9	9	13	▲4	7	7	0	35	49	▲14	62	95	▲33
10	8	12	▲4	8	7	1	35	51	▲16	60	107	▲47
11	10	13	▲3	8	8	0	43	46	▲3	77	88	▲11
12	9	11	▲2	8	7	1	38	42	▲4	69	75	▲6
1	9	13	▲4	8	8	0	36	56	▲20	62	95	▲33
2	7	12	▲5	6	8	▲2	29	49	▲20	47	85	▲38
3	8	12	▲4	10	7	3	31	44	▲13	63	83	▲20
計	109	143	▲34	94	96	▲2	426	538	▲112	775	1,033	▲258
月平均	9	12	▲3	8	8	▲0	36	45	▲9	65	86	▲22

(2) 非常勤ホームヘルパー派遣事業

介護保険の要介護若しくは要支援と認定された方、また、介護保険に該当しない高齢者の方に対し、非常勤ホームヘルパーを派遣した。

- ・非常勤ホームヘルパー 38名 (平成23年3月31日現在)
- (活動状況)

月	利用者数(名)			活動回数(回)			活動時間数(時間)		
	H22度	H21度	増減	H22度	H21度	増減	H22度	H21度	増減
4	116	140	▲24	723	931	▲208	944	1,205	▲261
5	115	140	▲25	638	802	▲164	833	1,035	▲202
6	115	143	▲28	761	946	▲185	978	1,208	▲230
7	113	142	▲29	701	921	▲220	905	1,181	▲276
8	106	138	▲32	675	839	▲164	879	1,076	▲197
9	107	131	▲24	657	806	▲149	843	1,039	▲196
10	106	130	▲24	644	606	38	823	809	14
11	104	124	▲20	692	594	98	820	791	29
12	97	127	▲30	586	796	▲210	758	1,029	▲271
1	97	123	▲26	563	549	14	728	722	6
2	100	123	▲23	579	535	44	726	692	34
3	97	116	▲19	668	577	91	799	749	50
計	1,273	1577	▲304	7,887	8,902	▲1,015	10,036	11,536	▲1,500
月平均	106	131	▲25	658	742	▲84	836	961	▲126

①訪問介護・介護予防訪問介護事業 (介護保険事業)

介護保険で要介護若しくは要支援と認定された方に対し、ケアプランに基づき利用者が居宅において自立した生活を営むことができるよう非常勤ホームヘルパーを派遣した。

(活動状況)

月	利用者数(名)			活動回数(回)			活動時間数(時間)		
	H22度	H21度	比較	H22度	H21度	比較	H22度	H21度	比較
4	72	84	▲ 12	544	700	▲ 156	720	918	▲ 198
5	72	83	▲ 11	491	597	▲ 106	648	781	▲ 134
6	71	86	▲ 15	571	709	▲ 138	741	914	▲ 174
7	70	86	▲ 16	522	676	▲ 154	677	876	▲ 199
8	65	84	▲ 19	514	647	▲ 133	677	838	▲ 162
9	65	80	▲ 15	485	603	▲ 118	626	787	▲ 161
10	65	79	▲ 14	487	396	91	625	550	75
11	64	75	▲ 11	539	414	125	625	569	56
12	59	78	▲ 19	441	612	▲ 171	572	801	▲ 229
1	59	76	▲ 17	418	368	50	544	499	45
2	61	76	▲ 15	433	358	75	541	475	66
3	59	70	▲ 11	492	378	114	614	503	111
計	782	957	▲ 175	5,937	6,458	▲ 521	7,610	8,511	▲ 901
月平均	65	80	▲ 15	495	538	▲ 43	634	709	▲ 75

②生活管理指導員派遣事業（市受託事業）

介護保険に該当しない高齢者に対し、生活管理指導員（非常勤ホームヘルパー）を派遣し日常生活の支援・指導や関係機関との連絡調整を行った。

（活動状況）

月	利用者数(名)			活動回数(回)			活動時間数(時間)		
	H22度	H21度	比較	H22度	H21度	比較	H22度	H21度	比較
4	44	56	▲ 12	179	231	▲ 52	224	287	▲ 63
5	43	57	▲ 14	147	205	▲ 58	185	254	▲ 69
6	44	57	▲ 13	190	237	▲ 47	237	294	▲ 57
7	43	56	▲ 13	179	245	▲ 66	228	305	▲ 77
8	41	54	▲ 13	161	192	▲ 31	202	238	▲ 36
9	42	51	▲ 9	172	203	▲ 31	217	252	▲ 35
10	41	51	▲ 10	157	210	▲ 53	198	259	▲ 61
11	40	49	▲ 9	153	180	▲ 27	195	222	▲ 27
12	38	49	▲ 11	145	184	▲ 39	186	228	▲ 42
1	38	47	▲ 9	145	181	▲ 36	184	223	▲ 39
2	39	47	▲ 8	146	177	▲ 31	185	217	▲ 32
3	38	46	▲ 8	176	199	▲ 23	185	246	▲ 61
計	491	620	▲ 129	1,950	2,444	▲ 494	2,426	3,025	▲ 599
月平均	41	52	▲ 11	163	204	▲ 41	202	252	▲ 50

(3) 居宅介護支援事業（介護保険事業）

介護保険で要介護と認定された高齢者等に対し、サービス提供事業者、介護保険施設、関係行政機関等と連携を図りながらケアプランを作成し、自立した生活を支援した。

（ケアプラン作成状況）

年度 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	月平均
H22度利用者	83	83	81	83	86	85	92	89	91	93	87	89	1,042	87
H21度利用者	78	82	86	88	82	82	83	83	86	86	82	80	998	83
増 減	5	1	▲5	▲5	4	3	9	6	5	7	5	9	44	4

(4) 介護予防給付ケアマネジメント業務（市受託事業）

市原市から委託を受け、介護保険で要支援と認定された高齢者等に対し、サービス提供事業者、介護保険施設、関係行政機関等と連携を図りながらケアプランを作成し、自立した生活を支援した。

（ケアプラン作成状況）

年度\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	月平均
H22度利用者	22	22	21	20	20	20	20	18	19	19	19	17	237	20
H21度利用者	22	23	23	21	21	21	23	23	24	21	23	21	266	22
増 減	0	▲1	▲2	▲1	▲1	▲1	▲3	▲5	▲5	▲2	▲4	▲4	▲29	▲2

(5) ふれあい・いきいきサロン事業

高齢者等に対して、地域住民やボランティアの参画を得て、ふれあいの場、仲間作りの場及び健康増進の場を提供し、地域の中で誰もが、生き生きと安心して、閉じこもりのない生活が送れるよう地域における福祉コミュニティづくりを推進するために実施した。

①辰巳台支部

・辰巳公民館でボランティアが調理した食事を同公民館、別会場において、会食サービスを月1～2回実施した。（年14回）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	54	48	45	53	47	64	58	61	79	50	57	休	616	374	242

・ケアハウス辰巳彩風苑で調理した食事をボランティアが対象者宅へ月2回配達した。（年24回）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	384	384	0

・辰巳公民館でおしゃべり会（茶話会）を月1回実施した。（年15回）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	15	13	15	33	20	19	20	20	20	22	37	28	262	183	79

②加茂支部

・軽費老人ホーム溪泉荘で調理した食事を南部老人福祉センターにおいて、会食サービスを月1～2回実施した。（年15回）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	32	32	56	31	休	27	49	52	30	29	66	32	436	249	187

③姉崎支部

・姉崎公民館でボランティアが調理した食事を同公民館において、会食サービスを月1回実施した。（年11回）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	52	58	50	47	51	50	48	54	57	56	55	休	578	474	104

・姉崎保健福祉センターで茶話会を月1回実施した。（年12回）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	42	44	31	34	29	35	34	30	40	38	32	35	424	332	92

④有秋支部

・ケアハウス日夕苑が調理した食事を有秋公民館において、会食サービスを月1回実施した。（年11回）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	24	26	24	24	18	21	18	20	23	22	25	休	245	204	41

・有秋公民館で茶話会を月1回実施した。(年9回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	17	休	16	19	休	16	休	19	14	19	17	15	152	177	▲25

⑤市原支部

・八幡集会場で茶話会を月1回実施した。(年10回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	25	27	25	29	24	27	26	休	23	24	25	休	255	205	50

・郡本会館で茶話会を月1回実施した。(年10回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	18	13	19	16	15	13	17	休	18	17	13	休	159	129	30

⑥五井支部

・五井公民館でボランティアが調理した食事を同公民館において、月1回会食サービスを実施した。

(年10回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	27	26	26	25	休	24	27	26	12	休	25	24	242	234	8

・国分寺台公民館でボランティアが調理した食事を同公民館において、会食サービスを実施した。(年9回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	25	28	31	23	休	33	32	33	休	33	36	休	274	167	107

・国分寺台公民館で茶話会を実施した。(年10回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	29	30	31	26	休	32	34	36	34	休	32	33	317	204	113

⑦三和支部

・特別養護老人ホームゆうしゅう園で調理した食事をボランティアが光風台自治会館へ配達し、同自治会館において、月2回会食サービスを実施した。(年24回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	47	46	46	47	45	46	41	42	40	43	42	46	531	459	72

・特別養護老人ホームあじさい園で調理した食事をボランティアが対象宅へ月2回配達した。(年24回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	22	26	23	22	19	21	19	20	18	20	18	20	248	226	22

・分目公民館にて茶話会を実施した。(年3回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	/	/	17	/	/	/	/	17	/	/	11	/	45	29	16

・土字公民館にて茶話会を実施した。(年3回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	/	/	17	/	/	/	/	20	/	/	17	/	54	35	19

・百合ヶ丘公民館にて茶話会を実施した。(年2回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	/	/	/	/	/	/	/	20	/	/	17	/	37	0	37

⑧南総支部

・南総公民館で給食サービス事業実行委員会が調理した食事を同公民館において、月1回会食サービスを実施した。(年9回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	休	28	27	30	休	29	24	27	56	28	27	休	276	240	36

・小勝山自治会館にて茶話会を実施した。(年5回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	32	/	31	/	/	/	/	20	52	/	44	/	179	165	14

・吉野台自治会館にて茶話会を実施した。(年3回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	18	/	/	/	/	/	/	31	/	41	/	/	90	113	▲ 23

・西国吉台集会所にて茶話会を実施した。(年3回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	18	/	/	34	/	/	/	/	/	/	/	40	92	66	26

・戸田コミュニティセンターにて茶話会を実施した。(年9回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	/	45	33	37	/	46	40	47	44	38	44	/	374	171	203

⑨ちはら台支部

・ちはら台コミュニティセンターでボランティアが調理した食事を同センターにおいて、月1回会食サービスを実施した。(年10回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	28	18	27	25	休	29	26	26	28	28	28	休	263	216	47

⑩市津支部

・潤井戸会館で茶話会を月1回実施した。(年10回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	23	17	19	20	休	20	休	23	22	22	18	20	204	177	27

・金剛地公民館で茶話会を隔月1回実施した。(年6回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	休	13	休	19	休	休	29	24	休	23	休	29	137	48	89

(6) 寝具乾燥・消毒及びクリーニングサービス事業

おおむね65歳以上の寝たきり老人、独居老人、老人世帯及び重度心身障がい者を対象に、保健衛生の向上と福祉の増進を図ることを目的として、日常使用している寝具の乾燥消毒(年1回はクリーニング・9月実施)を毎月1回実施した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H21度	増減
利用者	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	81	84	▲ 3

(7) 子育てサロン事業

社協支部が主体となり、小域福祉ネットワーク、福祉関係団体及び市・保健師等の協力を得て、子育てに対する疑問や悩み等を解決するとともに、地域での仲間づくりの場として次のとおり実施した。

支部名	実施回数	実施場所	参加延組数(年間組数)			1回あたりの参加組数	備考
			H22度	H21度	増減		
辰巳台	年10回	辰巳公民館	288	0	288	28.1組	はいはい(乳幼児)コース
	年10回	辰巳公民館	209	94	115	20.9組	るんるん(幼児)コース
	年180回 (週4回)	辰巳ふれあいセンター	867	1,172	▲305	4.8組	
姉崎	年11回	姉崎公民館	709	604	105	64.4組	
市原	年11回	八幡公民館	270	240	30	24.5組	
	年10回	古市場会館	168	120	48	16.8組	
有秋	年11回	有秋公民館	263	101	162	23.9組	
三和	年11回	三和コミュニティセンター	104	92	12	9.5組	
市津	年8回	市津公民館	111	57	54	13.8組	公民館と共催
ちはら台	年10回	ちはら台コミュニティセンター	362	345	17	36.2組	
五井	年9回	五井公民館	298	296	2	33.1組	
	年10回	国分寺公民館	347	193	154	34.7組	
南総	年10回	南総公民館	378	141	137	37.8組	公民館と共催

(8) ふれあいレクリエーション事業

(※市原市ボランティア連絡協議会・市原市姉崎保健福祉センター・市原市三和保健福祉センターとの共催事業)

ボランティアとの交流の中でより広い視野と感受性を持ってもらうことを狙いとし、同時に地域生活を支えるためのボランティアを育成することを目的として実施した。

期 日	11月23日(火)
場 所	葛西臨海水族館・羽田空港
参加者	84名 【障がい児(者)28名・家族34名・ボランティア22名】
内 容	野外でのボランティアとの交流など

(9) いちはらファミリー・サポート・センター事業（市受託事業）

仕事と育児が両立できる環境を整えるため、市民の参加と協力による相互扶助の組織として、いちはらファミリー・サポート・センターを設置し、事業を実施した。（平成18年11月から事業開始）

- ・利用会員登録者 212名（平成23年3月31日現在）
- ・協力会員登録者 82名（ ” ” ）
- ・活動状況

活動内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H22度計	H21度	増減
保育所・幼稚園の登園前の預り	28	30	35	27	21	26	29	31	30	24	29	24	334	540	▲ 206
保育所・幼稚園の送り	30	31	38	30	22	34	36	32	34	24	30	28	369	580	▲ 211
保育所・幼稚園の迎え	18	21	28	23	13	30	32	24	34	33	40	40	336	165	171
保育所・幼稚園の帰宅後の預り	13	16	16	17	11	15	12	20	16	10	15	12	173	126	47
学童の放課後の預り	3	10	27	20	3	27	29	33	19	29	22	8	230	25	205
放課後児童クラブの迎え	14	15	21	15	7	1	1	0	0	0	0	11	85	132	▲ 47
放課後児童クラブの終了後の預り	14	16	21	21	7	0	1	0	0	0	0	10	90	98	▲ 8
子供の病気時の援助	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	▲ 3
子供の習い事等の場合の援助	1	31	41	21	32	21	29	48	27	38	36	8	333	34	299
保育所・学校等休み時の援助	0	0	2	7	16	0	0	0	1	0	0	5	31	0	31
保育所等入所前の援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	0	0	0	0	3	4	6	5	3	4	0	5	30	5	25
保護者等の求職活動中の援助	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の場合の援助	1	1	3	4	0	3	2	2	0	1	0	3	20	6	14
保護者等の外出の場合の援助	1	1	0	0	0	1	0	1	0	3	2	0	9	77	▲ 68
保護者等の病気、その他休の場合の援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	6	▲ 5
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	▲ 27
小学校登校前の預り	0	10	19	11	2	18	17	16	0	0	0	0	93	145	▲ 52
合計	123	183	251	196	138	180	194	212	164	166	175	154	2,136	1,970	166

(10) 福祉カー貸出受託事業（市受託事業）

心身障がい者（児）、高齢者等の社会参加の促進と福祉の向上を図るため、障がい者、高齢者等及びその家族並びに社会福祉施設等に対し、リフト付きワゴン車の貸出しを実施した。

①利用件数

項目	月	利用状況	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H22度計	H21度	増減
			件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数			
心身障害者（児）及びその家族	件数	2	2	3	0	4	3	1	3	1	0	0	1	1	20	36	▲ 16
	日数	8	5	8	0	8	8	4	3	2	0	0	1	1	47	99	▲ 52
高齢者及びその家族	件数	0	1	0	2	0	0	1	2	2	1	0	1	1	10	10	0
	日数	0	1	0	8	0	0	2	3	4	1	0	4	4	23	17	6
社会福祉団体及び社会福祉施設	件数	3	2	2	1	2	0	2	1	2	0	0	0	0	15	18	▲ 3
	日数	12	5	6	4	8	0	8	4	8	0	0	0	0	55	61	▲ 6
社会福祉ボランティア	件数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	日数	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5
その他、市長が特に必要と認める者	件数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	日数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
合計	件数	5	5	6	3	6	4	4	6	5	1	0	2	2	47	64	▲ 17
	日数	20	11	15	12	16	13	14	10	14	1	0	5	5	131	177	▲ 46

②利用内容

項 目	内 容	利用 状況	旅行等	買物等	通院等	行事等	その他	合 計
心身障がい者（児）及びその家族		件数	5	1	8	2	4	20
		日数	19	4	11	3	10	47
高齢者及びその家族		件数	3	0	4	0	3	10
		日数	6	0	7	0	10	23
社会福祉団体及び社会福祉施設		件数	6	0	0	8	1	15
		日数	23	0	0	28	4	55
社会福祉ボランティア		件数	0	0	0	1	0	1
		日数	0	0	0	5	0	5
その他、市長が特に必要と認める者		件数	0	0	1	0	0	1
		日数	0	0	1	0	0	1
合 計		件数	14	1	13	11	8	47
		日数	48	4	19	36	24	131

(11) 送迎ボランティアサービス事業

既存の交通手段での移動が困難な高齢者及び障がい者（児）等の社会参加の促進と福祉の向上を図るため、地域住民の参加と協力による相互扶助活動として、送迎ボランティアサービス事業を実施した。

① 施状況

- ・利用者 172 世帯 193 名（平成 23 年 3 月 31 日現在登録者）
- ・協力ボランティア 48 名（ ” ” ）
- ・利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H22度計	H21度	増減	
延利用件数	71	62	64	74	68	60	78	67	67	71	62	64	808	704	104	
目的別 利用 件数	福祉施設利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	△12	
	公共機関利用	2	1	0	1	0	3	1	0	1	1	0	10	12	△2	
	行事への参加	2	2	3	0	0	0	2	2	0	2	0	13	11	2	
	通院	62	55	57	70	66	55	73	65	65	64	57	62	751	603	148
	その他	5	4	4	3	2	2	2	0	2	4	4	2	34	66	△32

②送迎ボランティア研修会

送迎ボランティアサービス事業協力者の資質向上と協力者間の交流を図り、円滑な事業運営の推進に寄与することを目的として実施した。

期 日	9月18日（土）	
場 所	市原市市民活動センター 会議室及びフリースペース	
参 加 者	送迎ボランティアサービス事業協力会員 20名	
内 容	研修会の部	「普通救命講習」 講師：五井消防署 大園 雄一氏・宍倉 勝好氏・内藤 徳仁氏
	交流会の部	交流会及び情報交換

(12) 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）

高齢者や障がい者に対し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などの援助を行うことにより、地域での自立した生活を送ることを支援するために、日常生活自立支援事業を実施した。

月	相談件数					訪問調査（件）		利用状況	
	高齢者	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	合計	実人数	延べ回数	利用者数	利用回数
4	1	0	1	0	2	2	2	4	6
5	1	0	1	0	2	1	1	5	6
6	0	0	1	0	1	1	1	5	9
7	1	0	0	1	2	1	1	5	9
8	2	0	1	0	3	1	3	5	9
9	0	0	0	0	0	1	1	5	9
10	0	0	1	0	1	1	1	5	9
11	0	0	1	0	1	1	5	6	9
12	2	0	1	0	3	3	3	6	10
1	0	0	1	0	1	1	4	6	10
2	1	0	0	0	1	3	8	6	10
3	0	0	0	0	0	2	3	6	10
H22度計	8	0	8	1	17	18	33	64	106
H21度	8	0	0	1	9	8	10	55	79
増減	0	0	8	0	8	10	23	9	27

12. 地域福祉活動推進事業

安心して快適に暮らせる「ふれあいと支えあいのある心豊かな福祉社会」を実現していくために、住民参加により地域の福祉需要にきめ細かく対応することのできる小域福祉圏の組織づくりを進めるとともに、地域の実情に即した活動を推進した。

(1) 地域ぐるみ福祉ネットワーク事業

それぞれの地域の特性を生かし、互いに声を掛け合う近隣関係を軸としたきめ細かな在宅福祉サービスを展開するため、地域の実情に即した活動を実施した。

[活動状況]

支部名	組織体制	事業実績		
		事業の名称	回数	事業の内容
辰巳台	役員会 委員会 専門部会	福祉バザー	1回	歳末たすけあい運動への協力
		ふれあい・いきいきサロン		
		・辰巳公民館	14回	年14回の会食サービス
		・辰巳集会所	15回	月15回の茶話会(おしゃべり会)
		配食サービス	24回	月2回の配食サービス
		介護予防教室	2回	介護予防についての知識の習得
		地域講演会	1回	地域の諸団体と共催で実施
広報誌の発行	3回	機関紙「コスモス」の発行		

		子育てサロン ・辰巳公民館(乳幼児コース) ・辰巳公民館(幼児コース) ・辰巳公民館(ふれ愛フェスタ) ・ふれあいセンター	20回 10回 1回 180回	就学前の保護者を対象として実施	
		役員研修会	1回	支部役員及び関係諸団体等との合同研修会	
加 茂	部会	歳末たすけあい募金	1回	歳末たすけあい運動への協力	
		ふれあい・いきいきサロン	15回	月1～2回の会食サービス	
		介護予防教室	1回	介護予防についての知識の習得	
		役員研修会	1回	支部役員研修会	
市 津 (市東) (湿津)	部会	福祉バザー	1回	歳末たすけあい運動への協力	
		ふれあい・いきいきサロン ・湿津会場 ・金剛地会場	10回 6回	月1回の茶話会 隔月1回の茶話会	
		友愛訪問	2回	寝たきり老人・独居老人を訪問	
		役員研修会	1回	支部役員研修会	
		子育てサロン	8回	就学前の保護者を対象として実施 (市津公民館との共催)	
市 原	部会	歳末たすけあい募金	1回	歳末たすけあい運動への協力	
		ふれあい・いきいきサロン ・八幡会場 ・郡本会場	10回 10回	月1回の茶話会 月1回の茶話会	
		広報紙の発行	2回	機関紙の発行	
		子育てサロン ・八幡会場 ・古市場会場	11回 10回	就学前の保護者を対象として実施	
		役員研修会	1回	支部役員との合同研修会	
姉 崎	委員会 専門部会 ・会食部会 ・茶話会部会 ・子育てサロン部会 ・広報部会 ・広報編集部会	福祉バザー	1回	歳末たすけあい運動への協力	
		ふれあい・いきいきサロン ・姉崎公民館 ・姉崎保健福祉センター	11回 12回	月1回の会食サービス 月1回の茶話会	
		広報紙の発行	2回	機関紙「そよ風」の発行	
		子育てサロン	11回	就学前の保護者を対象として実施	
		役員研修会	1回	支部役員研修会	
三 和	部会	福祉バザー	1回	歳末たすけあい運動への協力	

	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア部会 ・子育て部会 ・食事サービス部会 	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい・いきいきサロン ・光風台自治会館 ・分目公民館 ・土字公民館 ・百合ヶ丘公民館 	<ul style="list-style-type: none"> 24回 3回 3回 2回 	<ul style="list-style-type: none"> 月2回の会食サービス 年3回の茶話会 年3回の茶話会 年2回の茶話会
		配食サービス	24回	月2回の配食サービス
		福祉講演会	1回	地区住民を対象とした福祉講演会
		介護予防教室	2回	介護予防についての知識の習得
		子育てサロン	11回	就学前の保護者を対象として実施
		役員研修会	1回	支部役員研修会
南 総	<ul style="list-style-type: none"> 部会 ・給食サービス実行委員会 ・広報委員会 ・子育て支援委員会 	福祉バザー	1回	歳末たすけあい運動への協力
		ふれあい・いきいきサロン		
		・南総公民館	9回	月1回の会食サービス
		・小勝山自治会館	5回	年5回の茶話会
		・吉野台自治会館	3回	年3回の茶話会
		・西国吉台集会所	3回	年3回の茶話会
		・戸田コミュニティセンター	9回	月1回の茶話会
		介護予防教室	6回	介護予防についての知識の習得 (6地区)
		子育てサロン	10回	就学前の保護者を対象として実施 (南総公民館との共催)
		広報紙の発行	2回	機関紙「ふれあい」の発行
		役員研修会	1回	支部役員研修会
五 井	<ul style="list-style-type: none"> 部会 ・子育て支援部会 ・ふれあいサロン部会 ・シニア部会 ・広報部会 	歳末たすけあい募金	1回	歳末たすけあい運動への協力
		ふれあい・いきいきサロン		
		・五井会場	10回	月1回の会食サービス
		・国分寺台会場	9回	月1回の会食サービス
		〃	10回	月1回の茶話会
		子育てサロン		就学前の保護者を対象として実施
		・五井公民館	9回	
		・国分寺公民館	10回	
		介護予防教室	2回	介護予防についての知識の習得
		広報紙の発行	2回	機関紙「つくし」の発行
		役員研修会	1回	支部役員研修会
有 秋	<ul style="list-style-type: none"> ・会食会部会 ・子育て会部会 ・茶話会部会 ・広報部会 	福祉バザー	1回	歳末たすけあい運動への協力
		ふれあい・いきいきサロン		
		・有秋公民館	11回	月1回の会食サービス
		〃	9回	月1回の茶話会

		介護予防教室	1回	介護についての知識と技術の習得
		子育てサロン	11回	就学前の保護者を対象として実施
		広報紙の発行	2回	機関紙「あおぞら」の発行
		役員研修会	1回	支部役員研修会
ちはら台	委員会	福祉バザー	1回	歳末たすけあい運動への協力
		ふれあい・いきいきサロン	10回	月1回の会食サービス
		介護予防教室	1回	介護予防についての知識と技術の習得
		子育てサロン	10回	就学前の母親を対象として実施
		広報紙の発行	2回	機関紙「ハートネットかずさのみち」の発行 ちはら台チャンネル放送2での広報
		役員研修会	1回	支部役員研修会

(2) 小域福祉ネットワーク設置・運営

市原市地域福祉計画および市原市地域福祉活動計画に基づき、日常生活圏としての小学校区(中学校区でも可)において、地域福祉の具体的な取り組みを話し合い、活動する場として社協支部が中心となって、行政との協働により、小域福祉ネットワーク設置を推進した。

【設置進捗状況】

地区	校 区	ネットワーク名 及び設置年月日	進 捗 状 況 と 今 後 の 方 向 性	
			進 捗 状 況	今後の取り組みの方向など
姉崎	姉崎小学校区	姉崎小学校区小域福祉ネットワーク [平成19年2月21日]	具体的な取り組みを進めるにあたり、校区内の14町会長に「福祉協力員」（現在14名）の推薦を依頼し、推進役の強化を図った後、登下校時の「あいさつ・声かけ運動（見守り）」をスタートした。ネットワーク会議（H22.2.24）において、年度ごとに取り組みテーマを設定していくとともに、今後、他の課題へ取り組むための組織体制として、「役員会」と「子ども支援部会」「高齢者部会」「地域支援部会」「広報部会」の4部会を設置することを決定し、具体的な取り組みの検討を進めている。地域住民に対する情報提供、活動のPR等を行うために、広報紙「きずな」を発行（H22.10.1）した。	○子ども支援部会 ⇒ 現在活動中の「あいさつ・声かけ運動」について、小学校の通学路マップを基に絞り込んだ重点箇所での取り組みを継続していく。 ○高齢者部会 ⇒ 高齢者の状況把握を目的に実施したアンケート結果に基づき、ネットワーク全体の取り組みとして、高齢者支援のための具体的な取り組みについて検討していく。 ○地域支援部会 ⇒ 防犯パトロールと併せた一人暮らし高齢者の見守り活動について検討していく。 ○広報部会 ⇒ 町会回覧等も活用しながら、広報活動の充実を図っていく。
	明神小学校区	明神小学校区小域福祉ネットワーク [平成21年4月25日]	校区内の町会長及び関係団体（所属する方々）で準備会（H20.11.21）を設置し、2回の検討を経て設立。ネットワーク会議（H21.6.27）において、「子どもの見守り・安全」に係わる取り組みから開始していき、高齢者等の他の課題については御座り検討していくことを決定し、「子どもの見守り」活動からスタートした。その後、ネットワーク会議（H23.3.30）において、「高齢者の見守り」に係わる取り組みとして、一人暮らし高齢者を対象とした「マップづくり」から取り組んでいくことを決定した。	現在活動中の「子どもの見守り」について、重点箇所の調査と活動協力者の把握とともに、既存の活動組織を含めた体制づくり等について検討していきながら、ボランティアグループ活動へもグループとの連携を図りながら、継続参加（毎週月曜日）していく。また、「高齢者の見守り」に係わる取り組みとともに、他の福祉課題とニーズの抽出や部会制等の組織体制についても検討を進めていく。
	青葉台小学校区	青葉台小学校区小域福祉ネットワーク [平成22年8月1日]	校区内の町会長及び組織・団体に所属する方々で「青葉台小学校区小域福祉ネットワークづくり準備委員会」を設置し、数回の検討を経て設立。ネットワーク会議（H22.8.1）において、まずは「青葉台ふれあいサロン（旧青葉台郵便局）」を拠点とした「居場所づくり」を推進していくこととし、その他の取り組みについては、その後検討を重ねた結果、「一人暮らし世帯を含む地域で見守り支える仕組みづくり」を最優先課題として取り組んでいくこととした。	「青葉台ふれあいサロン」を拠点とした「居場所づくり」については、当番体制の拡充を図るとともに、誰もが気軽に立ち寄れる場とするために、土・日曜日の開館についても検討していく。また、「一人暮らし世帯を含む地域で見守り支える仕組みづくり」を併行的に進め得る課題として、「災害時要援護者の把握、災害時の地域支援体制づくり」の具体的な取り組みについて検討していく。
五井	千種小学校区		千種地区まちづくり協議会役員を対象に説明会を開催（H21.10.17）し、計画を説明。千種地区まちづくり協議会、姉崎支部、五井支部、市社協の4者により、今後の地域福祉活動の展開と併せ、ネットワークの設立について協議（H23.2.10）。	当面は、千種地区まちづくり協議会の事業を活かし、地域社会づくりを行っていくこととする。ネットワークについては、千種地区まちづくり協議会との整合性等を図りながら、設立に向けた検討を進めていく。
	五井小学校区		両校区内の町会長及び組織・団体に所属する方々を対象に説明会を開催（H21.11.24）し、「（仮称）五井小学校区・国府小学校区小域福祉ネットワーク設立準備委員会」を設置。ネットワーク会議（H22.3.20）において、地域と密着した組織体制とするために、区域を4ブロックに分けて検討を進めていくことを決定した。	ブロック（南五井・北五井・東五井・村上）ごとに推進委員を選出し、福祉課題とニーズの抽出から取り組みを進めていくとともに、役員会や全体会等の組織体制についても検討していく。
	国府小学校区			
	若葉小学校区		校区内の町会長及び組織・団体に所属する方々を対象に説明会を開催（H23.3.23）。	準備委員選出し、ネットワーク規約や組織体制、今後の進め方等、設立に向けた検討を進めていく。
	白金小学校区		校区内の町会長及び組織・団体に所属する方々を対象に説明会を開催（H23.3.25）。	関係者を中心に、設立に向けた検討を進めていく。
	国分寺台西小学校区	国分寺台西小学校区ふれあいネットワーク [平成19年2月24日]	国分寺台西小学校学区民会議（ふれあい連絡会）にて説明会を開催し、これを母体とし組織化。防犯マップに災害時要援護者情報を加えた「安心ふれあいマップ」の作成に向け、まずは高齢者からの情報収集を図るために、茶話会・座談会として「はつらつサロン」をスタートし、ナイスミドル会（老人会）等と連携した取り組みを行っている。ネットワーク会議（H22.4.23）において、マップづくりで把握した高齢者へフォローする取り組みとして、3班編成による「見守り隊」を結成することを決定した。	①「高齢者」「学校」「地域」の絆を持てる活動を前提とし、②委員のスキルアップと、③高齢者からの情報収集方法（「はつらつサロン」、訪問活動）の検証を行うとともに、④参加できない方々への対応も検討しつつ、⑤学校行事を通じた懇談の場など高齢者との接触機会を増やしていきながら、⑥地域での支え合い・助け合いを基本に、⑦安心見守りマップの充実に取り組んでいく。また、「見守り隊」については、他の取り組みの中でも情報収集を行い、活動の活性化を図っていきながら、「見守り安心カード」の作成を目指していく。
	国分寺台小学校区	国分寺台小学校区ふれんどネットワーク（愛称：ふれんどネット） [平成22年2月19日]	校区内の町会長及び国分寺台小学校学区民会議（KCIN）、関係団体に所属する方々を対象に説明会を開催（H21.8.22）した後、準備会を設置し、4回の検討を経て設立。ネットワーク会議（H22.3.19）において、「高齢者部会」「青少年部会」「広報部会」の3部会の設置を決定し、具体的な取り組みの検討を進めている。地域住民に対する情報提供、活動のPR等を行うために、広報紙「ふれんど」を発行（H22.8.1）した。	部会ごとに地域の実態把握を深めながら、福祉課題とニーズの抽出、整理及び分析を行い、具体的な方向性と方策について検討、絞り込みを進めていく。 ○高齢者部会/青少年部会 ⇒ 小学校を活用した地域交流として、ボランティアグループとも連携して実施（H22.12.7）した「昔遊び」を継続的に実施していく。 ○広報部会 ⇒ 町会回覧等も活用しながら、広報活動の充実を図っていく。

市原	若宮小学校区	若宮小学校区まんまるネットワーク [平成22年5月22日]	市原地区のモデル校区として設立。校区内の町会長及び組織・団体に属する方々を対象に説明会を開催（H21.12.23）した後、準備会を設置し、3回の検討を経て設立。 現在は「まんまるひろば（0～2歳児と保護者を対象）」「まんまるサロン（校区内の全住民を対象）」「ふれあい・いきいきサロン（茶話会）」を展開中。 ネットワーク会議（H23.1.22）において、高齢者の実態把握のために行ったアンケート結果を基に、具体的な取り組みを検討する「高齢者対策検討委員会」の設置を決定した。	独自事業の「まんまるひろば」（月2回）、「まんまるサロン」（毎週月曜日）については、「ふれあい・いきいきサロン」（月2回）とともに充実・拡充を図っていく。 高齢者に対する支援活動については、検討委員からの意見提案を基に、対象者の選定や活動者の確保、具体的な支援策等についての検討を進めていく。
辰巳台	辰巳台中学校区	辰巳福祉ネットワーク [昭和63年6月26日]	昭和63年にネットワークは設置済み。現在、6部会（広報部会、子育て部会、青少年部会、会食部会、いきいき部会、地域フレッシュ部会）ごとにさまざまな取り組みを行っている。	町会を単位とした「日常生活支援活動」の取り組みについて検討を進めていく。
市津			社協市津支部役員会議において計画を説明（H19.2.9）。	（旧）地域福祉計画策定地域会議メンバー及び町会関係者を変え、設立に向けた検討を進めていく。
三和	市西小学校区	市西小学校区小域福祉ネットワーク [平成20年8月2日]	社協三和支部総務会（H20.6.15）において、総務会に養老、海上地区町会長を加えた準備会を設置し、4小学校区同時に設立することを決定。3回の準備会を経て設立。 まずは、地域住民が気軽に参加することのできる活動から取り組んでいくこととし、ネットワーク会議（H21.11.7）において、「子どもへのあいさつ・声かけ運動」からスタートし、現在は小学校における「世代間交流」「環境美化活動」や海土有木駅及び上総三又駅の「環境美化活動」（H22.7.24）も展開中。	地域住民に対し、情報提供と活動のPR等を行うために、町会回覧等を活用しながら、広報活動の充実を図っていく。（「子どものあいさつ・声かけ運動」については、町会を通じ全戸にチラシ配布。また、さらなるPRを図るために、活動時に着用する腕章を作成。） 小学校における「世代間交流」「環境美化活動」については、小学校やPTAとの連携を図りながら、また、駅の「環境美化活動」については、小湊鉄道や小学校との連携・協力体制のもとに取り組みを継続・拡充していく。
	海上小学校区	海上小学校区小域福祉ネットワーク [平成20年8月2日]	社協三和支部総務会（H20.6.15）において、総務会に養老、海上地区町会長を加えた準備会を設置し、4小学校区同時に設立することを決定。3回の準備会を経て設立。 まずは、地域住民が気軽に参加することのできる活動から取り組んでいくこととし、ネットワーク会議（H21.12.6）において、「小学校の登下校時の声かけ」と「地域でのあいさつ運動」からスタートした。	地域住民に対し、情報提供と活動のPR等を行うために、町会回覧等を活用しながら、広報活動について検討していく。（「子どもへの声かけ運動」と「地域でのあいさつ運動」については、町会を通じ全戸にチラシ配布。また、さらなるPRを図るために、各町会に運動を周知するための看板を設置。） また、小学校区が五井地区にまたがることから、今後の五井地区の進捗状況等に応じて調整を行うこととする。
	養老小学校区	養老小学校区小域福祉ネットワーク（愛称：あったかネット養老） [平成20年8月2日]	社協三和支部総務会（H20.6.15）において、総務会に養老、海上地区町会長を加えた準備会を設置し、4小学校区同時に設立することを決定。3回の準備会を経て設立。 まずは、地域住民が気軽に参加することのできる活動から取り組んでいくこととし、ネットワーク会議（H21.11.7）において、「地域でのあいさつ運動」からスタートし、現在は小学校における「環境美化活動」も展開中。	地域住民に対し、情報提供と活動のPR等を行うために、町会回覧等を活用しながら、広報活動について検討していく。（「地域でのあいさつ運動」については、町会を通じ全戸にチラシ配布。） 小学校における「環境美化活動」については、小学校やPTAとの連携を図りながら、取り組みを継続していく。 また、「地域でのあいさつ運動」（さらなるPRを図るために看板を設置予定）を実施する中において福祉課題とニーズの抽出を行い、その他の取り組みについても検討を進めていく。
	光風台小学校区	光風台小学校区小域福祉ネットワーク [平成20年8月2日]	社協三和支部総務会（H20.6.15）において、総務会に養老、海上地区町会長を加えた準備会を設置し、4小学校区同時に設立することを決定。3回の準備会を経て設立。 推進委員会（H21.8.1）において、「シニア福祉関連」「子ども福祉関連」「地域一般福祉関連」の3グループの設置を決定し、具体的な取り組みの検討を進めている。 地域住民に対する情報提供、活動のPR等を行うために、広報紙「あったか地域福祉光風台」を発行（H22.2.7）した。	○シニア福祉関連グループ ⇒ 高齢者からの情報収集を図るために開催（H22.10.16）した一人暮らし高齢者を対象とした「茶話会」を継続的に開催していく。 ○子ども福祉関連グループ ⇒ 交通安全対策として信号機の設置（H21.12月）や路上マーク等の補修等（H22.1月）を要望。今後は計画の関連項目に基づいた取り組みを検討していく。 ○地域一般福祉関連グループ ⇒ 防犯パトロール用で作成した腕章、帽章を校区内の14町会に配布したほか、路上駐車等の日常的な課題について検討していく。
南総	牛久小学校区	牛久小学校区小域福祉ネットワーク [平成19年1月26日]	南総地区のモデル校区として設立。ネットワーク総会（H20.5.23）において、「高齢者」「青少年」「環境」の3部会の設置を決定した後、校区内の26町会長に「地域リーダー」を依頼し、町会との協働体制の強化を図った。 3部会共通の取り組みの方向性を「防災活動（災害発生時の対応等）」「健康・健全（地域の活性化）」に絞り込み、検討を進めている。 地域住民に対する情報提供、活動のPR等を行うために「広報委員会」を発足（H21.4.21）し、広報紙「小域福祉ネットワーク牛久」を発行（H21.6.15）した。	○高齢者部会 ⇒ 一人暮らし高齢者の見守りと災害時要援護者支援の取り組みを進めていく。 ○青少年部会 ⇒ 小学生児童の安心・安全や健全育成に向けた取り組みを検討していく。 ○環境部会 ⇒ 町会の自主防災組織との連携により作成した「防災マップ」の見直し・活用方法について検討するとともに、環境美化活動についても検討していく。 ○広報委員会 ⇒ 町会回覧等も活用しながら、広報活動（6月・10月・2月の年3回を予定）の充実を図っていく。
	内田小学校区	内田小学校区小域福祉ネットワーク [平成20年1月22日]	校区内の町会長及び組織・団体に所属する方々で準備会を設置し、4回の検討を経て設立。 「全体会」及び「推進会」の両組織で課題を抽出した後、「子ども（子育て）」「高齢者」「地域」の区分ごとに解決に向けた目標を設定。「子どもの見守り活動」（現在月2回）からスタート（H20.12.11）し、現在は「諏訪の杜の環境美化活動」「学校行事の活性化活動」についても展開中。 ネットワーク会議（H22.5.9）において、「高齢者」「学校支援等子ども」「地域」の3プロジェクトチームの設置を決定し、具体的な取り組みの検討を進めている。	「子どもの見守り活動」については、町会を中心に地域住民への呼びかけを行い、活動への賛同者、協力者、担い手を募り、活動の充実・拡充を図っていく。 「諏訪の杜の環境美化活動」については、プロジェクトメンバーを「杜の世話人」と称し、神社や総代との連携を図りながら、環境美化活動（偶数月の第1日曜日）を継続していく。 「学校行事の活性化活動」については、小学校との連携を図りながら、学校行事に合わせて継続していく。 また、地域住民に対する情報提供、活動のPR等を行うために、広報紙を発行予定（H23.4月）。
	寺谷小学校区	寺谷小学校区小域福祉ネットワーク [平成20年2月21日]	校区内の町会長及び組織・団体に所属する方々で準備会を設置し、5回の検討を経て設立。 ネットワーク会議（H20.3.19）において、「高齢者」「成人」「子ども	○高齢者支援班 ⇒ 3会場（小嶽山・西国吉台・吉野台）で実施している「茶話会（ふれあいおしゃべりサロン）」の充実・拡充を図っていく。

			も「広報」の分野別支援班の設置を決定し、具体的な取り組みの検討を始める（その後、成人支援班は高齢者支援班に一時統合）。校区内全体で取り組んでいる「資源回収」（月1回）では、その収益金で75歳以上の方々と要支援者へゴミ回収券の配布、子ども会・PTAへの助成を行っている。また、「子どもと高齢者との交流」「支え合いマップづくり」「エコキャップ回収」等の取り組みを展開中。	○子ども支援班 ⇒ 「寺谷学び塾」（月1回）を開催し、世代間交流を図るとともに、学校行事の支援を進めていく。 ○広報支援班 ⇒ 地域住民への広報活動の充実を図るとともに、「資源回収」の金額が減少していることから、回収方法や収益金の使途の検討等を進めていく。
平三 小学校区		平三小学校区小域福祉ネットワーク [平成20年6月20日]	校区内の町会長及び組織・団体に所属する方々を対象に説明会を開催（H19.12.1）した後、3回の準備会を経て設立。ネットワーク会議（H20.12.1）において、「学校」「環境」の2部会の設置を決定し、具体的な取り組みの検討を進めている。地域住民に対する情報提供、活動のPR等を行うために「広報委員会」を発足（H21.11.30）し、広報紙「へいさんのかせ」を発行（H22.3.8）した。	現在活動中の「学校行事への協力」「美化活動」「防犯パトロール」等を継続実施していくとともに、地域住民に対し、ネットワーク活動を周知するために、広報活動の充実を図っていく。 また、町会、学校、ネットワークが連携し、高齢者の見守りや災害時要援護者支援の仕組みづくりについて検討していく。
鶴舞 小学校区		鶴舞地区小域福祉ネットワーク [平成20年7月8日]	校区内の町会長及び組織・団体に所属する方々を対象に説明会を開催（H19.12.13）した後、役員会、準備会等での検討を経て設立。ネットワーク会議（H20.8.23）において、推進目標（具体的活動）を「防犯パトロール活動」「高齢者のコミュニティ援助活動」とし、併せて活動資金の確保を図るために「資源回収」を実施することを決定し、「資源回収」（H20.10.17）、「防犯パトロール」（H20.11.14）をそれぞれスタートした。今後は「高齢者に優しいまちづくり対策」「資源回収」を軸とし、具体的な取り組みの検討を進めている。	現在活動中の「防犯パトロール」「資源回収」の取り組み内容を検証し、見直しを進めていく。 「防犯パトロール」（小学校の一斉集団下校日に合わせて月1回・3班編成）については、関係組織・団体との連携を図りながら、活動の拡充を進めていく。また、「資源回収」の収益金で活動用品等の購入を検討していくとともに、地域住民に対し、活動の周知を図るための広報活動の充実を図っていく。
戸田 小学校区		戸田小学校区小域福祉ネットワーク [平成21年2月28日]	校区内の町会長及び組織・団体に所属する方々を対象に説明会を開催（H20.1.17）し、「準備委員」を選出した後、3回の準備会を経て設立。今後は、具体的な取り組みを検討するにあたり、ネットワーク会議（H21.3.12）において、「高齢者」「子ども」「環境」の3部会の設置を決定し、部会ごとに福祉課題とニーズの抽出、整理及び分析を進めている。	○高齢者部会 ⇒ 戸田コメンで実施している「茶話会（ふれあい・いきいきサロン）」の充実・拡充や一人暮らし高齢者の実態調査等を進めていく。 ○環境部会 ⇒ 小湊鉄道や小学校との連携・協力体制のもと、馬立駅構内及び周辺の「環境美化活動」（周辺の環境整備は月1回、小学校児童の作品展示は隔月入れ替え）を継続・拡充していく。 ○子ども部会 ⇒ 小学校との関わりを強化し、子どもの安全確保のための下校時の見守り活動の実施に向けて検討を進めていく。
南総	【6小学校区共通の取り組み】 国のモデル事業である「安心生活創造事業」（全国58ヶ所の自治体をモデル市町村として指定し、H21～H23までの3カ年を目標とした地域福祉プログラム（一人暮らし世帯等に対する見守り支援や買い物支援といった基盤支援）を実施。国と協働で事業効果を検証し、全国に情報発信する事業。）の対象地域として選定されており、南総地区内に設置されている小域福祉ネットワークがそれぞれの小学校区における推進役を担っている。まずは、一人暮らし高齢者等に対する見守り支援を行っていくために、各小学校区において地域特性や実情等に応じながら、「安心訪問員」による見守り活動の実施、または実施に向けた検討が進められている。			
加茂				社協加茂支部を中心に、設立に向けた検討を進めていく。
有秋	有秋 中学校区		「有秋地区福祉ネットワーク推進委員会（準備会）」において、「高齢者」「子ども」「緊急時（災害時）」に係わる取り組みを検討していくことを決定するとともに、校区内の27町会長に「福祉協力員」（現在は「専門委員」として13名）の推薦を依頼し、推進役の強化を図った。 現在、「災害時の取り組み」を中心に検討を進めており、より生活圏域に見合った話し合い等を行うために、推進委員会（H22.1.16）において、避難先学校区ごとに「（仮称）防災ネットワーク」を構築することを決定し、各ネットワークから3名の役員を選出した。	防犯・防災それぞれの活動や組織等について、地域の現状把握を進めながら、課題とニーズを抽出、整理及び分析を行い、具体的な取り組みについて検討していく。 また、地域住民の防災意識の高揚を図るために、町会長連合会有秋地区会、社協有秋支部との共催により開催（H21.5.16）した「自主防災訓練」を継続開催していくとともに、災害時における地域での助け合いを目的とした「（仮称）防災ネットワーク」の構築について、モデル地区の指定も含めた検討を進めていく。
ちはら台	水の江 小学校区	ちはら台水の江小学校区福祉ネットワーク [平成18年7月15日]	①相談支援及び助け合いシステムをH19.4.1より活動開始（相談支援・日常生活支援・家事援助・送迎サービス） ②広報誌の発行（社協ちはら台支部との合同） ③高齢者支援 ・「憩いの広場」をH19.5.21より月1回開催（小学生以上、障がい者も参加可） ④子育て支援 ・広場のびのびをH20.4月より月2回開催 ・広場のびのび「すまいる」をH22.7月より週2回開催	現在展開中の取り組みの整理及び分析を行い、さらなる充実を図っていくとともに、地域福祉活動の更なる充実のために、新たな支え合い・助け合いの仕組みづくりについて検討していく。
	清水谷 小学校区	ちはら台清水谷小学校区福祉ネットワーク [平成20年12月1日]	⑤障がい者支援 ・「虹の会」をH19.11.18より開催（年3回程度）	
	牧園 小学校区	ちはら台牧園小学校区福祉ネットワーク [平成22年11月1日]		

13. ボランティアセンター運営事業

(1) ボランティア登録数

① ボランティアグループ

年度	登録団体数	登録者数
H22 度	170	3,576
H21 度	170	3,665
増 減	0	▲89 名

② 個人ボランティア

年度	登録者数
H22 度	277
H21 度	308
増 減	▲31

(2) 相談の実績

☆相談受付件数 398 件

相 談 内 容	H22 度件数	H21 度	増減
活動希望、活動中の問題に関する事	124	151	▲27
派遣依頼に関する事	189	160	29
その他	85	99	▲14
合 計	398	410	▲12

(3) 活動の実績

ボランティアグループ				個人ボランティア			
	H22 度	H21 度	増減		H22 度	H21 度	増減
活動回数	11,593	10,248	1,345	延参加人数	6,807	6,691	116
延参加人数	78,778	61,444	17,334				

依頼に対する活動状況			
	H22 度	H21 度	増減
件 数	164	160	4
延参加人数	973	696	277

(4) ボランティアセミナー

①傾聴ボランティア養成講座

高齢者や障がい者などの孤独感や不安感を軽減することを目指し、心と耳を傾けて話を聴くために必要な知識と技術を学び、相手の心に寄り添う傾聴ボランティアの養成を図ることを目的として実施した。

期 日	10月28日(木)、11月4日(木)、10日(水) [全3回]	
場 所	市原市市民活動センター 会議室	
参 加 者	登録ボランティア及び一般市民 延べ87名	
内 容	講義及び演習	「指折り」「ジャンケン・グー」「ラセン」「早期回想」「回想法」「きく」 「心の構造」「心・行動・環境」「人の一生」「成長の模式図」「ジョハリの窓」 「島に流されて」「白熊のハンティング」「アビュース」「内向・外向」 「価値観による6類型」「気づきのトレーニング」「コミュニケーション」 「私のきき方」「より聴くことの9のポイント」 講師：千葉県子どもと親のサポートセンター 田邊 昭雄 氏
		傾聴ボランティアについてのビデオ上映 登録ボランティアグループ「傾聴の会 ひだまり」の紹介

②子育て支援ボランティア養成講座

子育てを地域で支え合うことの大切さや、子育て支援ボランティアに関する基本的な知識や技術を学び、保健福祉センターや地域での子育て支援活動に携わってくれる人材を育成することを目的として実施した。

※市原市姉崎保健福祉センター・市原市三和保健福祉センターとの共催事業

期 日	11月1日(月)・8日(月)	
場 所	市原市姉崎保健福祉センター ボランティアルーム・研修室	
参 加 者	一般市民 延べ32名	
内 容	講義及び実技	「現在の親子事情について」「手作りおもちゃ・手遊び・触れ合い遊び」 講師：財団法人児童育成協会 こどもの城 新田 久美 氏 「市原市の子育て支援について」 講師：市原市役所 島津 尚代 氏 「絵本の読み聞かせのコツ」 講師：ボランティアグループかけはしの会 金子 みどり 氏・青木 由紀子 氏
	説 明	「市原ファミリー・サポート・センターについて」 「子育てに関するボランティアグループについて」

(5) ボランティアアドバイザーの設置

ボランティアによるアドバイザーを設置することにより、社協本来の機能である住民参加型の事業の展開を進めるとともに、ボランティアコーディネーターの業務を担うセンター職員と登録ボランティアとの橋渡しの役割を期待し、もってボランティア活動のより一層の推進を図ることを目的として設置した。

設置状況

配 置 数	3名（活動日に交代で1名ずつ）
活動日時	週2日（月曜日…市原市市民活動センター・木曜日…市原市姉崎保健福祉センター） 午前10時から午後4時まで
活動内容	市民からのボランティアに関する相談に応ずるとともに、登録ボランティアに対する助言を行う他、センターの運営に協力。

(6) ボランティアコーディネーター研修会

ボランティア受け入れの基本から受け入れに伴うリスクの把握や対策について、また、日常的に多くのボランティアに継続して活動してもらうためのプログラム作りについて、講義と演習を通して学ぶことを目的として実施した。

(基礎編)

期 日	7月7日（水）	
場 所	市原市市民活動センター 会議室	
参 加 者	24名【社会福祉施設23名・病院関係者1名】	
内 容	講義及び演習	「ボランティアコーディネーターの役割とボランティアの受入」「ボランティア活動の基本」 講師：KT福祉研究所 代表 松藤 和生 氏

(応用編)

期 日	7月22日（木）	
場 所	市原市市民活動センター 会議室	
参 加 者	21名【社会福祉施設21名】	
内 容	講義及び演習	「ボランティア受け入れのポイント」「ボランティアプログラムの作成」「ボランティアプログラムのポイント」 講師：KT福祉研究所 代表 松藤 和生 氏

(7) ボランティアリーダー養成研修会

ボランティアリーダーとしての役割を再確認した上で、メンバー一人一人が持っている意見や豊かな経験・アイデアを引き出し、円滑なグループ運営やよりよい活動に結びつけるための「ファシリテーション」の基本について、講義と演習を通して学ぶことを目的として実施した。

期 日	3月11日（金） ※地震発生により途中中止	
場 所	市原市市民会館 会議室1・2	
参 加 者	登録ボランティアグループリーダー 75名	
内 容	講 義	講 義：「チームワークを育む！ファシリテーションの基本について」 講師：特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会 理事・運営委員長 加留部 貴行 氏)

(8) 第22回市原市総合防災訓練

(※市原市の主催事業へ市原市ボランティア連絡協議会とともに参加)

市原市で震度6強を記録する地震が発生した場合を想定し、避難住民に対する災害ボランティア活動の効果的な展開を図ることを目的として実施した。

期 日	9月4日（土）～5日（日）	
場 所	市原市戸田コミュニティセンター	
参 加 者	59名【ボランティア42名・市原市社会福祉協議会職員17名】	
内 容	サテライト災害ボランティアセンター（戸田コミュニティセンター）での主な活動 ・ボランティアの受付 ・スタッフミーティング ・オリエンテーション	

(9) 出前講座

市民に対する福祉教育（生涯学習）の一環として、市内の学校・各種団体・機関からの要請に応じて職員を派遣した。

派 遣 先	団体数
学校関係	13
公共機関等	2
福祉施設、団体等	6
合 計	21

(10) ボランティア連絡協議会関係

市原市ボランティア連絡協議会の事務局として、その活動の推進を図った。

事業名	期日	会場	主な内容
総会	5/13	市原市姉崎保健福祉センター (アネッサ)	平成21年度事業報告について 平成21年度決算報告及び監査報告について 平成22年度事業計画(案)について 平成22年度予算(案)について 今年度役員承認について 役員紹介 その他(会費の納入について、質疑応答)
交流会	5/25	市原市文化の森	会員相互の交流を図ることを目的として開催
夏休み体験教室	8/18	市原市姉崎保健福祉センター (アネッサ)	“つくって あそぼう” レトロなおもちゃからサイエンスな世界へ! ・けむり大砲(空気砲)・びっくりカエルの親子・ぶんぶんごま・輪ゴム鉄砲・かざぐるまづくり・浮沈子・シャボン玉・水鉄砲・マイはし作り・スーパー竹とんぼ
第2回市原市総合防災訓練	9/4 9/5	市原市戸田コミュニティセンター	市原市の主催事業へ市原市社会福祉協議会とともに参加
健康づくり講演会	10/18	市原市市民会館	講演:「糖尿病漫談 ～1人でも少なくしよう糖尿病～」 講師: 県立佐原病院 地域連携室 外口 徳美致氏
市民活動センターまつり (iほっとまつり)	10/23	市原市市民活動センター	映像・パネル展示による活動紹介 喫茶コーナー・バザー・焼きそば・親子でチャレンジ
第8回ボランティアまつり	11/20	市原市立国分寺台西小学校	パネルやビデオ、スライド写真による活動発表 ・楽器、伝統芸能等による発表・体験、展示等
ふれあいレクリエーション	11/23	葛西臨海水族館・羽田空港	ひとり親家庭の親子や発達の子どもの、在宅心身障がい児(者)とその兄弟を対象に市原市ボランティアセンター・市原市姉崎保健福祉センター・市原市三和保健福祉センターと共催で開催
バス研修会	2/8		視察: 赤山地下壕跡・南房パラダイス・野島崎灯台・石堂寺
会報発行	年2回		「いちばらV連協だより」第16号(7月) 手作り広報誌の発行(2月) 広報活動

14. 市原市市民活動センター運営事業

(1) 市原市市民活動センター運営委員会

市原市市民活動センターの管理運営に関し必要な事項を協議することを目的として実施した。

期 日	内 容
第1回 4月15日 (12名出席)	市民活動センター及び市民公益活動の活性化について ・第1回ワーキングチームの開催報告について ・“セカンドライフ講座”の開催報告について オープンスペースの活用方法について
第2回 5月27日 (14名出席)	委員長の選出について 市民活動センター及び市民公益活動の活性化について ・第2回ワーキングチームの開催報告について ・市原市市民活動センターまつり（iほっとまつり）について オープンスペースの設営について
第3回 6月22日 (11名出席)	市民活動センター及び市民公益活動の活性化について ・第3回ワーキングチームの開催報告について ・市民活動センターの活性化に関する提案について
第4回 8月19日 (12名出席)	市民活動センター設置及び管理に関する要綱の改正について 第4回ワーキングチームの開催報告について フリースペース化に伴う和室等の整備状況について
第5回 9月10日 (12名出席)	市民活動センター設置及び管理に関する要綱の改正について 第3回iほっとまつり実行委員会の開催報告について フリースペース化に伴う和室等の整備状況について
第6回 11月9日 (13名出席)	iほっとまつりの開催報告について 2階フリースペースの現状について 運営委員会の改選について
第7回 2月24日 (12名出席)	委員長及び副委員長の選出について 運営協力団体の事務室移転について 第6回ワーキングチームの開催報告について 新年度のセンター運営・事業について ・ボランティアセンターと市民活動センターの位置づけ ・開館日及び開館時間について ・2階フリースペースの活用方法について ・ボランティア・NPO通信の発行について
第8回 3月9日 (11名出席)	シニアライフ講座の開催報告について 国際交流センター、男女共同参画センター及び運営協力団体の位置づけについて 運営協力団体の事務室移転について
臨時 3月22日 (12名出席)	東日本大震災における支援について

(2) 市原市市民活動センターワーキングチーム

市原市市民活動センター運営委員会の補助機関として、市民公益活動の活性化に関し具体的な事項を検討することを目的として実施した。

期 日	内 容
第1回 4月9日 (8名出席)	iほっと塾“セカンドライフ講座”開催報告について iほっと塾事業計画について センターレイアウトについて
第2回 5月14日 (7名出席)	iほっと塾“ボランティアデビュー講座”開催(案)について
第3回 6月4日 (8名出席)	iほっと塾“ボランティアデビュー講座”について ・広報について ・受入団体について
第4回 7月27日 (8名出席)	iほっと塾“ボランティアデビュー講座”について
第5回 9月17日 (5名出席)	“セカンドライフ講座”について
第6回 1月13日 (7名出席)	第5回ワーキングチームについて “セカンドライフ講座”について ・開催要項(案)について ・チラシ・ポスターについて
第7回 2月22日 (6名出席)	“シニアライフ講座”について

(3) 市原市市民活動センターまつり (iほっとまつり)

市民公益活動の拠点施設としての市民活動センターの存在を広く市民に周知することを目的として開催した。

期 日	10月23日(土)	場 所	市原市市民活動センター 屋内・屋外	来場者	450名
内 容	テーマ	「知って、使って、輪になって」			
	活動発表	各団体の日頃の活動等を映像・パネル展示により紹介、千葉県NPO活動写真展			
	イベントコーナー	焼きそば、親子でチャレンジ(浮沈子・ペット風車・びゅんびゅんガエル)、餅つき、おもちゃ病院、体験コーナー(太巻き寿司・フラワーアレンジメント)、バザー、ワゴンセール、相談コーナー、喫茶コーナー			

(4) iほっと塾

シニアライフ講座

退職後、地域で豊かに暮らしていくために必要な情報を提供し、地元市原で心も体も元気にイキイキと暮らすことを目的として実施した。

期 日	3月5日(土)	場 所	市原市市民活動センター 会議室	来場者	一般市民39名
内 容	講 義 「元気なシニアのこれから」 講師：シニアライフ(定年退職)アドバイザー 宮本 厚士 氏				

15. 敬老会事業

(1) 敬老会

高齢者の長寿を祝うことを目的に、社協各支部が実施主体となり、地域住民等による演芸など、趣向を凝らした敬老会を例年 10 支部 65 会場で実施した。

No.	実施日	実施地区	会場	対象者数	出席者数	出席率	
				37,074名	9,713名	26.2%	
1	9/12(日)	市津地区	市津公民館	1,408名	196名	13.9%	
2			市東第一小学校	1,226名	204名	16.6%	
3		三和地区	糸久自治会館(糸久町会)	28名	15名	53.6%	
4	9/18(土)	三和地区	有木公民館(有木町会)	62名	22名	35.5%	
5	9/19(日)	姉崎地区	姉崎保健福祉センター	2,229名	500名	22.4%	
6		五井地区	東海中学校	1,218名	285名	23.4%	
7			若葉小学校	1,435名	314名	21.9%	
8		三和地区	権現堂自治会館(権現堂町会)	54名	17名	31.5%	
9			福増公民館(福増町会)	87名	45名	51.7%	
10			山倉公民館(山倉町会)	123名	37名	30.1%	
11			中谷原公民館(中谷原町会)	30名	19名	63.3%	
12			新生自治会館(新生町会)	44名	23名	52.3%	
13			櫃狭集会所(櫃狭町会)	17名	12名	70.6%	
14		南総地区	寺谷小学校	688名	237名	34.4%	
15			内田小学校	385名	147名	38.2%	
16		9/20(祝)	姉崎・五井(千種)地区	千種中学校	1,531名	396名	25.9%
17			五井(国分寺台)地区	市民会館	2,243名	827名	36.9%
18			市原地区	菊間コミュニティセンター	1,696名	520名	30.7%
19				若宮小学校	1,207名	411名	34.1%
20	四辻自治会館(四辻町会)			10名	9名	90.0%	
21	新町町会会館(新町町会)			10名	10名	100.0%	
22	門前町会会館(門前町会)			36名	36名	100.0%	
23	三和地区			光風台小学校	694名	186名	26.8%
24			三又公民館(三又町会)	37名	13名	35.1%	
25			海士公民館(海士町会)	74名	27名	36.5%	
26			高坂自治会館(高坂町会)	35名	12名	34.3%	
27			大桶公民館(大桶町会)	68名	28名	41.2%	
28	南総地区		南総公民館	1,360名	228名	16.8%	
29	有秋地区		姉崎保健福祉センター	1,659名	380名	22.9%	
30	9/22(水)	三和地区	相川公民館(相川町会)	24名	11名	45.8%	
31	9/25(土)	三和地区	三和コミュニティセンター(磯ヶ谷町会)	211名	58名	27.5%	
32		市原地区	東宿会館(東宿町会)	12名	12名	100.0%	

33	9/26(日)	姉崎地区	青葉台小学校	1,359名	374名	27.5%
34		辰巳台地区	辰巳公民館	1,529名	633名	41.4%
35		三和地区	新堀公民館(新堀町会)	128名	39名	30.5%
36			武士公民館(武士町会)	36名	19名	52.8%
37			安須公民館(安須町会)	49名	19名	38.8%
38			川在農村共同館(川在町会)	53名	23名	43.4%
39			新巻町民会館(新巻町会)	34名	16名	47.1%
40		あじさい苑(あじさい苑)	28名	28名	100.0%	
41	9/26(日)	南総地区	戸田小学校	1,168名	325名	27.8%
42			鶴舞小学校	839名	181名	21.6%
43			平三小学校	295名	83名	28.1%
44	加茂地区	加茂公民館	1,918名	398名	20.8%	
45	9/30(木)	三和地区	土宇自治会館(土宇町会)	127名	48名	37.8%
46	10/3(日)	五井地区	五井小学校	2,200名	346名	15.7%
47		市原地区	八幡公民館	2,300名	603名	26.2%
48			五所小学校	752名	219名	29.1%
49			新市原会館(新市原町会)	89名	33名	37.1%
50		ちはら台地区	ちはら台コミュニティセンター	914名	303名	33.2%
51	10/17(日)	三和地区	山田町会公民館(山田町会)	124名	46名	37.1%
52			宮原児童公園(宮原町会)	58名	32名	55.2%
53	10/24(日)	市原地区	能満分区公民館(能満分区町会)	347名	72名	20.7%
54			山田橋公民館(山田橋町会)	152名	49名	32.2%
55		三和地区	分目自治会館(分目町会)	53名	19名	35.8%
56			二日市場自治会館(二日市場町会)	63名	26名	41.3%
57	10/31(日)	市原地区	市原中学校	995名	75名	7.5%
58		三和地区	小野山公民館(小野山町会)	75名	25名	33.3%
59			大坪公民館(大坪町会)	83名	23名	27.7%
60			松崎町会自治会館(松崎町会)	79名	36名	45.6%
61			浅井小向自治会館(浅井小向町会)	44名	17名	38.6%
62	11/3(水)	市原地区	市原公民館(椿森、日の宮、市原、和泉、阿須波台町会合同)	229名	65名	28.4%
63	11/6(土)	五井地区	京葉小学校	844名	230名	27.3%
64	11/7(日)	市原地区	藤井公民館(藤井町会)	108名	45名	41.7%
65	11/21(日)	市原地区	房総十字園(竹ノ内町会)	64名	26名	40.6%

16. 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

低所得世帯、高齢者世帯に対し、民生委員児童委員をはじめ各関係者が指導援助を行うことにより、当該世帯の経済的自立と更生意欲の助長促進をはかり、安定した生活が営めることを目的として実施した。

年度	資金種類	相談件数 (件)	申請件数 (件)	貸付	
				件数(件)	金額(円)
21	総合支援資金※H21.10月より	166	120	118	79,428,374
	福祉費	54	8	6	8,455,000
	緊急小口資金	125	105	104	7,707,800
	教育支援資金	18	7	2	3,520,000
	不動産担保型生活資金	5	0	0	0
	臨時特例つなぎ資金※H21.10月より	17	13	13	1,050,000
	離職者 H21.9月末まで	16	3	3	3,600,000
	合 計	401	256	246	103,761,174
22	総合支援資金	331	271	266	354,023,102
	福祉費	56	20	18	18,315,850
	緊急小口資金	292	298	291	28,420,000
	教育支援資金	29	21	21	23,088,750
	不動産担保型生活資金	0	0	0	0
	臨時特例つなぎ資金	30	30	30	2,880,000
	その他	30	0	0	0
	合 計	768	640	626	426,727,702
前年度比較増減		367	384	380	322,966,528

17. 高齢者及び重度障害者居室等増改築・改造資金貸付事業（県社協受託事業）

高齢者及び重度障がい者と同居又は同居を予定している方に対し、その専用居室等を増改築・改造するために必要な資金を融資することにより、高齢者・重度障がい者と家族の生活環境の維持を目的として実施した。

相談件数 (件)	申 請		貸 付	
	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
0	0	0	0	0

18. 心配ごと相談所設置事業（自主事業）

住民の生活上のあらゆる相談に応じ、適切な助言・指導を行い、問題解決の手助けをするために、民生委員児童委員の協力を得て、週2回(月・金の午後1時から4時まで)開設した。

(1) 開設状況

項 目	合 計
開設日数	83日 (毎週月・金)
利用者数	18人 (男11名、女7名)
相談員延べ人数	142名

(2) 相談・処理状況

	処理状況					相談件数
	解 決	再 来	民生委員	他 機 関	そ の 他	
生 計				2	1	3
年 金	1					1
職 業 ・ 生 業	1			2		3
住 宅				1		1
家 族	1					1
結 婚						0
離 婚						0
健康・保健・衛生						0
医 療	1			1		2
人 権 ・ 法 律				1		1
財 産						0
事 故						0
児童福祉・母子保健						0
教 育 ・ 青 少 年						0
心身障害者（児）福祉						0
母子福祉・父子福祉						0
老 人 福 祉			1			1
苦 情			1	2		3
そ の 他						0
合 計	4		2	11	1	18

19. 療養資金貸付事業（市受託事業）

高額療養費の支払いが困難な世帯に対し、高額療養費の支払いに必要な資金の貸付けを実施した。

貸付状況

年度	相談件数 (件)	申請		貸付	
		件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
21	97	164	31,132,000	164	31,132,000
22	93	199	32,957,000	199	32,957,000
前年度比較増減	△4	35	1,825,000	35	1,825,000

一世帯に対する貸付回数の状況

貸付世帯数														
貸付回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
世帯数	90	43	20	9	8	6	5	4	3	3	3	3	1	1

一件あたりの貸付額の状況

最高額： 970,000円	最低額： 6,000円	平均：165,613円
---------------	-------------	-------------

20. 福祉資金貸付事業（自主事業）

福祉関係法律の適用を受けることができない、低所得世帯を主な対象者として、資金の貸付と必要な援助指導を与え、生活の安定と自立更生をはかった。

年度	資金種類	相談件数 (件)	申請件数 (件)	貸付	
				件数(件)	金額(円)
21	応急生活費	332	255	255	7,132,000
	医療費	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	合計	332	255	255	7,127,000
22	応急生活費	142	199	199	5,551,000
	医療費	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	合計	142	199	199	5,551,000
前年度比較増減		△190	△56	△56	△1,576,000

21. 社会福祉基金管理・運用事業

(1) 社会福祉基金管理

寄附金、社会福祉基金の運用益金及び福祉バザー収益金の一部を財源として社会福祉基金の増強を図った。

① 積立金

種別	積立預入先	金額
普通預金	千葉銀行	111,690,491円
積立合計		111,690,491円

② 債券

種別	銘柄名	金額
公募地方債	東京都公募公債第574回	100,000,000円
公募地方債	東京都公募公債第636回	100,000,000円
合計		200,000,000円

(2) 助成

先駆的・開拓的な在宅福祉サービス等の活動を地域で実践しているボランティア活動の安定した運営が図れるよう活動費の助成を行った。

実施事業名	助成団体数	積立金額
(ア)家事援助サービス	0	0円
(イ)食事援助サービス	4団体	600,000円
(ウ)障がい者自立生活援助活動	0	0円
(エ)福祉啓発及び地域づくり活動	1団体	40,000円
(オ)施設の社会化運動	0	0円
(カ)ホームヘルパー講習会受講費用	0	0円
(キ)老人大学校受講費用	0	0円
(ク)要綱等で別に定める事業	0	0円
(ケ)その他のサービス供給事業	0	0円
合計	5団体	640,000円

22. 指定管理施設管理経営事業

指定管理者として、老人福祉センター（2館）、五井福祉作業所、三和福祉作業所、姉崎保健福祉センター、三和保健福祉センターをそれぞれ運営した。

施設名	指定管理期間
老人福祉センター（2館） 五井福祉作業所、三和福祉作業所 姉崎保健福祉センター	平成18年4月1日～平成23年3月31日
三和保健福祉センター	平成21年4月1日～平成26年3月31日

（1）老人福祉センター管理経営事業

高齢者に対し、各種の相談に応じるとともに健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与することを目的として、嘱託医による健康相談や血圧測定、市原警察署による交通安全指導の実施、その他教養講座を次のとおり開催した。

事業名		期 日
健康相談・血圧測定（嘱託医：横山医師）		毎月第3火曜日
各種講座	大正琴	第2・第4水曜日
	書道	第1・第3金曜日
	生け花	第2・第4木曜日
	アートフラワー	第1木曜日
	将棋クラブ	第2・第4月曜日
	囲碁会	毎週火曜日
	ゲートボール	毎日（1団体）

① 月別利用状況

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
老人クラブ	団体数	12	11	12	11	8	11	13	10	9	11	14	4	126
	人数	402	209	217	204	149	186	223	192	182	257	250	69	2,540
一般団体	団体数	14	14	14	18	17	18	17	16	13	9	12	7	169
	人数	246	244	258	358	332	323	316	302	235	180	218	119	3,131
団体合計	団体数	26	25	26	29	25	29	30	26	22	20	26	11	295
	人数	648	453	475	562	481	509	539	494	417	437	468	188	5,671
個人人数		2,570	2,364	2,901	2,820	2,859	2,609	2,780	2,586	2,451	2,515	2,522	1,245	30,222
総 合 計		3,218	2,817	3,376	3,382	3,340	3,118	3,319	3,080	2,868	2,952	2,990	1,433	35,893

② 利用状況前年度比較

区 分	団 体 数		前 年 度 比 較 増 減	人 数		前 年 度 比 較 増 減
	21年度	22年度		21年度	22年度	
老人クラブ	124	126	2	2,586	2,540	△46
一般団体	158	169	11	2,772	3,131	359
個人				34,204	30,222	△3982
合 計	282	295	13	39,562	35,893	△3669

(2) 南部老人福祉センター管理経営事業

高齢者に対し、各種の相談に応じるとともに健康管理、福祉の増進、教養の向上及びレクリエーション等、老人クラブ活動の推進育成を図ることを目的に幅広く利用していただきました。

主な事業として、高齢者団体の会合、親睦レクリエーション、福祉のための会場の提供、団体利用者のマイクロバスによる送迎、また、健康・教養の向上のために隔月第3金曜日に「嘱託医(斉藤医師)による健康相談」、毎週木曜日に「囲碁教室」、毎週火・金曜日に「ゲートボール練習会」、「ゲートボール大会」のほか加茂地区老人クラブ員を対象として「教養講座・保健講座」を実施した。

① 月別利用状況

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
老人クラブ	団体数	19	14	17	16	9	11	18	16	11	15	17	8	171
	人数	388	384	424	358	181	234	566	311	209	376	397	182	4,010
一般団体	団体数	27	26	35	37	21	34	28	31	28	25	32	16	340
	人数	234	268	325	315	253	325	236	261	257	214	304	158	3,150
団体合計	団体数	46	40	52	53	30	45	46	47	39	40	49	24	511
	人数	622	652	749	673	434	559	802	572	466	590	701	340	7,160
個人人数		105	107	107	112	83	106	105	95	88	90	101	55	1,154
総合計		727	759	856	785	517	665	907	667	554	680	802	395	8,314

② 利用状況前年度比較

区分	団体数		前年度 比較増減	人数		前年度 比較増減
	21年度	22年度		21年度	22年度	
老人クラブ	242	171	△ 71	4,734	4,010	△ 724
一般団体	275	340	65	3,104	3,150	46
個人				1,221	1,154	△ 67
合計	517	511	△ 6	9,059	8,314	△ 745

(3) 五井福祉作業所管理経営事業

知的障がい者または身体障がい者であることにより就業が困難な在宅の障がい者に対し、生活の場及び就労に向けての作業の場を提供しながら必要な支援と訓練を行い、利用者の自立と社会参加の助長促進を図った。

① 利用状況(定員:40名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開設日数	21	18	22	21	18	20	20	20	18	18	19	19	234
利用者数	37	37	36	36	35	35	35	35	34	34	33	33	
延人数	686	564	706	672	571	611	602	629	545	526	561	540	7,213

② 作業訓練事業

項目	内容	
作業内容	自主作業	Tシャツのプリント加工、縫製、写真プリント、パソコン入力
	受託作業	製袋、プラスチック加工、シール貼り、テープのダビング(声の広報)、医療品加工、広報封筒入れ等

年間作業日数	235日（1ヶ月あたり作業日数：19日）	
作業収益	製品販売収入	1,740,856円
	製品加工賃収入	947,729円
	合計	2,688,585円
作業工賃	月例工賃	2,048,512円
	期末手当	512,076円
	合計	2,560,588円（1人あたり月平均工賃6,096円）

③ 社会生活訓練事業

事業を通して責任感、道徳心、協調性を養い、社会適応能力の向上を図ることを目的に実施した。

事業名	期 日	内 容	参加者
調理実習	第1回 5月18日	実習を通し食の安全と衛生についての関心と意識の高揚を図ることを目的として実施。 〔メニュー〕 ・ホットケーキ ・紅茶またはコーヒー	利用者 9名 ボランティア 2名
	第2回 5月21日		利用者 9名 ボランティア 2名
	第3回 5月25日		利用者 9名 ボランティア 2名
	第4回 5月27日		利用者 9名 ボランティア 2名
所外訓練	第1回 5月28日	社会適応力の向上を目的に、小グループ（4班編成）に分かれ、公共交通機関を利用し、施設見学を通じて社会参加と見聞を広めた。 〔見学先〕 千葉市花の美術館	利用者 9名 ボランティア 3名
	第2回 6月4日		利用者 9名 ボランティア 3名
	第3回 6月11日		利用者 9名 ボランティア 3名
	第4回 6月18日		利用者 9名 ボランティア 3名
芸術講習会	第1回 8月31日	フラワーアレンジメント 講師：岡田明子先生	利用者 29名
	第2回 11月19日	ガラス細工「とんぼ玉のキーホルダー」 講師：杉本泰雄先生 (助手1名)	利用者 35名
教養講座	4月21日	国語、算数、書道、手芸、編み物、工作、パソコン班に分かれ、ボランティアの協力により勉強会を行った。 また、1月は風車・紙トンボ・割り箸鉄砲等を使い昔遊びを実施した。	利用者 32名
	5月19日		利用者 31名 ボランティア 12名
	6月16日		利用者 28名 ボランティア 13名

	7月21日		利用者 35名 ボランティア 15名
	8月18日		利用者 32名 ボランティア 7名
	9月15日		利用者 30名 ボランティア 8名
	10月20日		利用者 29名 ボランティア 11名
	11月17日		利用者 35名 ボランティア 13名
	12月15日		利用者 32名 ボランティア 7名
	1月19日		利用者 30名 ボランティア 15名
	2月16日		利用者 32名 ボランティア 13名
防犯指導	1月7日	市内の犯罪の傾向と不測の事態への対応についての講義 講師：千葉県警市原警察署生活安全課	利用者 33名 保護者 20名
防災訓練	第1回 5月17日	施設利用者を対象に、火災を想定した避難誘導訓練及び通報・伝達訓練等を実施した。	利用者 29名
	第2回 9月8日	施設利用者を対象に、地震を想定した避難誘導訓練及び通報・伝達訓練等を実施した。	利用者 31名

④ 福利厚生事業

健康管理の徹底を図り、より豊かな生きがいのある作業所生活の充実を図ることを目的に実施した。

事業名	期日	内容	参加者
クリスマス会	12月17日	レクリエーションの一環として、作業室でクリスマス会を行った。 (キャンドルサービス、大林杏奈さんの歌謡ショー等)	利用者 33名 保護者 28名 ボランティア 3名
レクリエーション大会	第1回 4月6日	潮見公園にて花見会を実施した。	利用者 33名 保護者 11名 ボランティア 8名
	第2回 7月14日	ロコボウルにてボーリング大会を実施した。	利用者 36名 ボランティア 10名
課外活動	毎月第1水曜日 13:15～15:30 (5・10・2月は除く)	利用者の希望に応じ、スポーツ、カルチャー、パソコンの3部門に分かれ、利用者同士の交遊を図るとともに支援員との信頼関係を深めた。	全員

健康相談	9月 8日	嘱託医、泉水昇医師（五井中央診療所）による利用者個々の健康相談を実施した。 検査項目：聴打診、問診、体重、血圧測定	利用者 31名
健康診断	1月 25日・27日 (2日間)	健康診断の実施 受診場所：五井中央診療所（嘱託医 泉水昇医師） 検査項目：体重、胸部X線、血圧、血液、肝機能、尿検査等	利用者 33名
歯科検診	8月 26日	嘱託医、伊藤修一医師（白金歯科医院）による利用者個々の歯科検診を実施をした。	利用者 32名
歯磨き指導	3月 3日	嘱託医、伊藤修一医師（白金歯科医院）による虫歯予防のための歯磨き指導を実施した。	利用者 28名
地域交流活動 1 (七夕)	7月 3日	作業所休所日を利用し、利用者、保護者、ボランティア、地域住民がレクリエーション活動（七夕の短冊づくり、飾り）を通し、相互の交流と親睦を深めた。 場所：市原市五井福祉作業所、五井公民館、せんだう五井金杉店	利用者 12名 保護者 4名 ボランティア 15名 地域住民 10名 職員 7名
地域交流活動 2 (グランドゴルフ)	10月 23日	作業所休所日を利用し、利用者、保護者、ボランティア、地域住民がレクリエーション活動（グランドゴルフ）を通し、相互の交流と親睦を深めた。 場所：潮見公園	利用者 7名 ボランティア 8名 職員 3名

⑤ 諸行事参加協力事業

他施設、他機関との交流を図ることを目的として、多彩な行事へ参加した。

行事名	主催	期日	会場	内容	参加者
明神小学校バザー	明神小学校	10月 23日	明神小学校	自主製品を販売するとともに、作業所の紹介をした。	職員 2名 利用者 1名
千種小学校バザー	千種小学校	11月 6日	千種小学校	自主製品を販売するとともに、作業所の紹介をした。	職員 3名 利用者 2名
京葉小学校バザー	京葉小学校	11月 13日	京葉小学校	自主製品を販売するとともに、作業所の紹介をした。	職員 2名 利用者 3名
市原市福祉まつり	市原市	11月 28日	YOUホール	自主製品を販売するとともに、作業所の紹介をした。	職員 2名 利用者・保護者 20名
障がい者週間啓発行事	市原市	12月 3日 ～9日	市原市役所	作業所を紹介するとともに自主製品を展示した。	職員 1名

⑥ 保護者会との協働

自主事業を通じ、保護者会との連携を図った。

事業名	期 日	内 容	参加者
保護者会との懇談会	4月 6日	潮見公園での花見会の際、意見交換を行った。	保護者 11名
保護者対象学習会	4月 23日	平成22年度五井福祉作業所の事業計画についての説明を行った。	保護者 24名
保護者対象相談会	第1回 4月 23日	五井福祉作業所に関するアンケート調査についての報告 講師：市原市役所保健福祉部障がい者支援課	保護者 24名
	第2回 8月 30日	障害者自立支援法についての説明会を実施した。 講師：市原市役所保健福祉部障がい者支援課	保護者 22名

⑦ 職場実習

職場体験を通して勤労の意義を知り、自らの生き方を考えることを目的として職場体験実習を実施。

※実習協力先：有限会社真栄ビル管理

回数	実 習 日	実習者数	実 習 場 所	回数	実 習 日	実習者数	実 習 場 所
1	4月 7日	1	ハウ・ミュ-町田動物病院	10	8月 11日	1	ハウ・ミュ-町田動物病院
2	4月 21日	1	ハウ・ミュ-町田動物病院	11	8月 25日	1	ハウ・ミュ-町田動物病院
3	5月 5日	1	ハウ・ミュ-町田動物病院	12	9月 8日	1	ハウ・ミュ-町田動物病院
4	5月 19日	1	ハウ・ミュ-町田動物病院	13	9月 16日	1	耕養会館
5	6月 9日	1	ハウ・ミュ-町田動物病院	14	9月 22日	1	ハウ・ミュ-町田動物病院
6	6月 23日	1	ハウ・ミュ-町田動物病院	15	10月 6日	1	ハウ・ミュ-町田動物病院
7	6月 24日	1	耕養会館	16	10月 20日	1	ハウ・ミュ-町田動物病院
8	7月 7日	1	ハウ・ミュ-町田動物病院	17	12月 8日	1	ハウ・ミュ-町田動物病院
9	7月 21日	1	ハウ・ミュ-町田動物病院	18	12月 22日	1	ハウ・ミュ-町田動物病院

(4) 三和福祉作業所管理経営事業

知的障がい者または身体障がい者であることにより、就業が困難な在宅の障がい者に対し、作業の場及び生活の場を提供し、必要な支援を行い利用者の自立と社会参加の助長を図った。

①利用状況（定員：いちよう園20名、桜園20名、ひまわり園30名）

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開設日数		21	18	22	21	18	20	20	20	16	18	19	19	232
いちよう園	利用者数	11	11	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	860
	延人数	75	73	89	79	79	74	80	73	61	67	55	55	
桜園	利用者数	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	3,415
	延人数	321	274	342	313	261	292	304	292	241	260	256	259	
ひまわり園	利用者数	18	17	17	17	17	17	17	18	18	18	18	18	3,375
	延人数	290	270	310	307	258	290	284	303	243	255	286	279	
合計	利用者数	48	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	7,650
	延人数	686	617	741	699	598	656	668	668	545	582	597	593	

②作業訓練事業

項目	内容	
作業内容	自主作業	縫製、印刷、木工、洗車、園芸、リサイクル、資源回収
	受託作業	医療用品（折り）袋入れ、雑巾縫い、銅線分別、プラスチック分別、缶容器の検査、農業用ポットの組み入れ作業等
年間作業日数	230日（1ヶ月あたり作業日数：19.1日）	
作業収益	製品販売収入	1,741,346円
	製品加工賃収入	820,242円
	合計	2,561,588円
作業工賃	月例工賃	1,707,724円
	期末手当	731,884円
	合計	2,439,608円（1人あたり月平均工賃5,495円）

③社会生活訓練事業

ア) いちよう園

事業を通し、多くの人と交流を図り、自然を満喫し、社会性を高めることを目的として実施した。

事業名	期日	内容	参加者
第1回園外訓練	6月23日 Aグループ	行き先：ユニモちはら台店	利用者 A4名
	6月24日 Bグループ		B5名
第2回園外訓練	11月5日	行き先：道楽園（富浦）	利用者 7名 保護者 9名

イ) 桜園及びひまわり園

事業を通し、責任感、道徳心、協調性を養い、社会適応能力の向上を図ることを目的として実施した。

事業名	期日	内容	参加者
園外・誕生会	4月30日	桜・ひまわり園の当月誕生者が園外訓練と誕生会を兼ねてアピタ市原	利用者2名 ボランティア1名
	6月24日		利用者3名 ボランティア1名

	7月22日 9月22日 10月21日 11月25日 2月22日 3月3日	店にて食事会と買い物を行った。	利用者6名 ボランティア2名 利用者4名 ボランティア1名 利用者3名 ボランティア2名 利用者6名 ボランティア1名 利用者4名 ボランティア2名 利用者5名
調理実習	5月27日 7月29日 9月30日・10月7日 2月28日	ホットケーキ・紅茶 フルーツ白玉・アイ스티ー ワンプレートランチ 反省会	利用者31名 ボランティア1名 利用者29名 利用者30名 利用者28名

ウ) 3園共通事業

地域貢献、地域住民との交流を図ることにより、社会の一員である自覚を促し、地域の中で生活する実感を与え、社会参加を促進することを目的として実施した。

事業名	期 日	内 容	参 加 者
地域活動事業	毎月第2金曜日	小湊鉄道「上総三又駅」の花壇やプランターの整備、近隣地域の清掃活動、草取り等を行った。	利用者全員 ボランティア 5～9名

④福利厚生事業

健康管理の徹底を図り、より豊かな生きがいのある作業所生活の充実を図ることを目的に実施した。

ア) 3園共通事業

事業名及び期 日	内 容	参 加 者		
		いちよう園	桜 園	ひまわり園
レクリエーション大会 6月4日	三和コミュニケーションセンター体育館にて実施。 競技に参加すること、会場の雰囲気を経験することにより、豊かな心を養い体力の増進を図った。	利用者9名	利用者12名	利用者15名
夏まつり 8月10日	作業所屋内及び玄関前にて実施。 利用者及びその関係者と近隣住民等が集まり、夏まつりを通じ相互の理解と親睦を深めた。	入場者約310名		
クリスマス会 12月17日	YOU ホールにて五井福祉作業所と合同で実施した。クリスマスソング合唱、ボランティアによる演奏や利用者余興などを行った。	利用者9名	利用者17名	利用者16名
もちつき大会 1月14日	作業所グラウンドにて実施。	利用者9名	利用者16名	利用者15名
健康診断 5月31日～ 6月17日	健康診断を6班に分け実施。 受診場所：五井中央診療所（嘱託医） 検査項目：体重、胸部X線、血圧、肝機能	利用者11名	利用者19名	利用者18名

(6日間)	能、尿、血液、ぎょう虫			
健康相談 2月2日	嘱託医に来所してもらい、利用者個々の健康について相談（聴打診、血圧測定）を行った。 嘱託医：泉水医師（五井中央診療所）	利用者3名	利用者15名	利用者14名
歯科検診 7月1日	嘱託医に来所してもらい、利用者個々の歯の検診を行った。 嘱託医：伊藤医師（白金歯科医院）	利用者2名	利用者15名	利用者15名
歯磨き指導 2月24日	嘱託医に来所してもらい、虫歯予防のための歯磨き指導を行った。 嘱託医：伊藤医師（白金歯科医院）外2名	利用者2名	利用者11名	利用者15名

イ) 課外活動（3園合同）

事業名及び 期 日	内 容	参 加 者
毎月第3金曜日	レクリエーション（風船バレー等）、創作活動（模型作り等）、音楽活動（カラオケ等）を実施した。	全員 ボランティア3名

⑤諸行事参加協力事業

行 事 名	主 催	期 日	会 場	内 容	参 加 者
菊間コミュニティ・保健福祉センター朝市	菊間コミュニティ・保健福祉センター運営委員会	毎月第4土曜日	菊間コミュニティ・保健福祉センター	作業所紹介 縫製及び木工製品等の販売	菊間コミュニティ・保健福祉センター運営委員会委託販売
市原市園芸まつり	市原市	4月23日～ 4月25日	農業センター	作業所紹介 縫製及び木工製品等の販売	職員8名
いいでんいいでん収穫まつり	市原市	10月28日	五井東ロイバント広場	作業所紹介 縫製及び木工製品等の販売	職員3名
市原市心身障害者（児）スポーツ大会	市原市	11月3日	八幡運動公園	各種競技に参加	利用者24名 保護者若干名 職員13名
三和コミュニティまつり	三和コミュニティまつり実行委員会	11月7日	三和コミュニティセンター	作業所紹介 縫製及び木工製品等の販売	職員3名
農林業まつり	市原市	11月13日～ 14日	市民会館駐車場	作業所紹介 縫製及び木工製品等の販売	職員6名

菊間コミュニティ・保健福祉センターまつり	菊間コミュニティ・保健福祉センター運営委員会	11月21日	菊間コミュニティ・保健福祉センター	作業所紹介 縫製及び木工製品等の販売	職員2名
市原市福祉まつり「ふれあい福祉文化展」	市原市	11月28日	YOU ホール	作業所紹介 縫製及び木工製品等の販売	職員4名
もみじまつり	安由美会	11月28日	市民の森	作業所紹介 縫製及び木工製品等の販売	職員3名
障害者週間啓発行事	市原市	12月3日～ 12月9日	市役所 1階ロビー	作業所紹介 縫製及び木工製品の展示	職員2名 (搬入・撤去)
高滝湖マラソン	市原高滝湖マラソン実行委員会	1月8日	高滝小学校	作業所紹介 縫製及び木工製品等の販売	職員4名
サンハートまつり	サンハート	1月23日	サンハート	作業所紹介 縫製及び木工製品等の販売	職員2名
五井にぎわい広場	五井にぎわい広場運営委員会	2月27日	梨の木公園	作業所紹介 縫製及び木工製品等の販売	職員3名

⑥就労勉強会

就労を希望する利用者を対象に、就労に対する意識の向上を図ることを目的に勉強会を実施した。

事業名	期日	内 容	参加者
就労勉強会	4月22日	園芸祭りの事前準備の手伝い及び販売マナーについて学習した。	利用者7名
	5月31日	就労についての心構えなど必要な事柄を学習した。	利用者6名
	6月28日	三和福祉作業所「夏まつり」に向けたポスター作成。	利用者6名
	7月23日	三和福祉作業所「夏まつり」に向けたポスター作成及びプレゼンを行った。	利用者6名
	8月26日	自分の夢についてのスピーチを行った。	
	9月16日	市原市工業振興課が行う「障害者雇用促進就労面接会」の参加に向け話し合いを行った。	利用者5名 利用者5名
	10月8日	市原市工業振興課が行う「障害者雇用促進就労面接会」に参加。	利用者3名
	10月14日	市原市工業振興課が行う「障害者雇用促進就労面接会」の報告と反省会。	利用者4名
	11月29日	アビリンピック(障害者技能競技大会)の課題を行った。	利用者6名
	1月7日	市原 FM 放送株式会社の見学を行った。	利用者6名

	2月4日	障がい者就労面接会の情報提供及び面接時の注意点を学習した。	利用者6名
就労実績	就労勉強会に参加した桜園利用者1名が就労。(就労先：市原郵便局)		

⑦避難訓練

災害時における連絡伝達系統の確立、及び利用者の防災行動の育成を図ることを目的に実施した。

事業名	期日	内 容	参 加 者		
			いちよう園	桜園	ひまわり園
第1回避難訓練	9月16日	地震を想定し、通報・伝達訓練、避難・誘導訓練を実施した。	利用者3名	利用者11名	利用者15名
第2回避難訓練	3月4日	火災を想定し、通報・伝達訓練、避難・誘導訓練、初期消火訓練を実施した。	利用者4名	利用者14名	利用者15名

(5) 姉崎保健福祉センター管理経営事業

① 地域福祉センター

地域住民及びボランティア等の民間福祉団体の福祉活動の拠点として、各種福祉情報の提供を総合的に行い、もって地域住民の福祉の高揚を図った。

ア) 月別利用状況[貸室]

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H22度計	H21度	増減
体育室	2,613	2,726	2,814	2,802	2,578	4,624	3,715	3,239	2,612	2,479	2,231	1,185	33,618	34,727	▲ 1,109
ボランティアルーム	418	460	528	859	360	738	629	569	669	511	460	217	6,418	7,544	▲ 1,126
実習室	361	347	379	390	321	393	383	390	379	262	280	212	4,097	4,244	▲ 147
調理実習室	50	64	56	83	20	46	70	59	101	48	123	40	760	1,042	▲ 282
研修室	936	789	715	959	816	867	1,007	733	690	380	996	1,344	10,232	11,558	▲ 1,326
多目的ホール	819	734	963	874	913	1,058	850	756	857	825	905	388	9,942	10,448	▲ 506
ゲートボール場	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5	30	▲ 25
相談室	8	2	12	66	15	4	20	14	1	9	19	1	171	215	▲ 44
合 計	5,205	5,122	5,467	6,033	5,023	7,735	6,674	5,760	5,309	4,514	5,014	3,387	65,243	69,808	▲ 4,565

イ) 年間事業実施状況

事業名	期日	内 容	参加者
ニコニコキッズ	5月17日	ボランティアによる手作り遊具を活用し、開放された遊びの場を提供することで、地域の親子が交流を図り情報交換を行う等の子育ての支援を行うことを目的として実施した。(※3月14日震災のため中止)	138名
	7月12日		114名
	9月13日		167名
	11月15日		179名
	12月13日		136名
	1月17日		139名
子育て支援ボランティア養成講座	11月1日	子育てを地域で支え合うことの大切さや、子育て支援ボランティアに関する基本的な知識や技術を学び、保健福祉センターや地域での子育て支援活動に携わる	18名
	11月8日		14名

		人材を育成することを目的として実施した。 (ボランティアセンター・サンハートと共催)	
世代間交流事業 卓球教室	8月1日 8月8日 3月6日	高齢者の卓球グループの方々を講師として卓球教室を開催することで、世代間の交流を図ることを目的として実施した。(児童館と共催) (※3月13日震災のため中止)	高齢者 32名 児童 71名
バリアフリー スポーツ教室	7月25日 9月26日	障がい児(者)を中心としたバリアフリースポーツを地域の高齢者、児童、ボランティアと一緒に体験することで、障がい者への理解を深め交流の機会を作るために実施した。	41名 50名
昔あそび	6月13日 9月5日 11月21日 2月13日	昔から伝承されている子どもの遊びを教わるとともに一緒に楽しみながら世代間の交流を図ることを目的として実施した。(児童館と共催) シルバー友の会	児童 89名 保護者 59名 ボランティア 41名
夏休み親子体験教室	8月18日	市内の親子を対象に工作や昔あそびを通して世代間の交流を図る。(V連協と共催)	136名
アネッサ発クリーン 大作戦	11月20日	施設利用者と地域住民とで地域の清掃活動を行い、地域に貢献するとともに、世代間・サークル間の交流を図り相互理解を深めることを目的として実施した。 (児童館と共催)	195名
手話入門講座	1月～3月 (全7回)	市民を対象に、障がいに対する理解とボランティア意識の向上を図るため、初心者の手話入門講座を実施した。 (※震災のため3回中止)	131名
グランドゴルフ大会	9月12日	グランドゴルフを通し、世代間及び地域住民の交流を深めることを目的として実施した。	48名
ふれあいレクリエーション	11月23日	心身障害児(者)とその兄弟が野外でのびのびと過ごす機会をつくり、ボランティアとの交流の中でより広い視野と感受性を持ってもらうために実施した。 (市原市ボランティアセンター、サンハートと共催)	84名
普通救命講習	10月5日 10月6日	施設利用の方々に、万が一における事故に対応できる知識及び技術を身につけてもらうため実施した。	21名
除草ボランティア	4月24日 5月22日 6月26日 7月24日 10月23日	敷地内の除草を利用者に呼びかけ、ボランティア活動を行うことで意識の向上と親睦を図ることを目的として実施した。	30名 21名 24名 6名 18名
自主防災講習会	6月～9月	防災について知識を高め、地域防災の在り方や取り組みについて学ぶことを目的として実施した。	270名

② 老人福祉センター

地域の高齢者が集うことにより、社会的孤立感の解消、身体的及び精神的な負担の軽減を図るとともに、健康で豊かな心で生きがいのある生活ができるよう各種教室を開催した。

ア) 月別利用状況[貸室]

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H22度計	H21度	増減	
大広間	団体	176	155	197	167	201	171	215	214	157	289	132	74	2,148	2,287	▲ 139
	個人	1,413	1,211	1,438	1,368	1,355	1,356	1,275	1,137	1,126	1,211	1,250	585	14,725	13,539	1,186
和室	244	230	203	250	196	248	265	223	179	210	255	145	2,648	3,098	▲ 450	
男性浴室	1,202	1,159	1,201	1,220	629	970	1,264	1,150	1,089	1,106	485	451	11,926	12,824	▲ 898	
女性浴室	808	757	755	763	385	642	821	755	772	779	326	288	7,851	9,202	▲ 1,351	
合計	3,843	3,512	3,794	3,768	2,766	3,387	3,840	3,479	3,323	3,595	2,448	1,543	39,298	40,950	▲ 1,652	

イ) 年間事業実施状況

事業名	期日	内容	参加者
ヨガ教室	4月～6月 (全10回)	高齢者の体力の維持増進を目的としたヨガ。 講師：浜 賢太郎氏	105名
一文字書を楽しむ 書道教室	6月～8月 (全5回)	色紙に好きな一字を書く。 講師：大野 蘭秀氏	72名
健康吹矢教室	9月 (全4回)	高齢者の体力の維持増進を目的とした健康吹矢。 講師：折原 信一氏	57名
ほのぼのダンス・ ストレッチ教室	9月～12月 (全10回)	高齢者の体力の維持増進を目的としたストレッチ体操等。 講師：垂 三枝子氏	255名
絵手紙教室	10月～12月 (全10回)	絵手紙の基本について学んだ。 講師：東 洋子氏	121名
そば打ち教室	12月 (全2回)	市原産のそば粉を利用したそば打ち。 講師：斉藤 忠夫氏	24名
60歳からの健康 体操教室	1月～3月 (全8回)	高齢者の体力の維持増進を目的とした健康体操。 講師：有山 貴子氏 (※震災のため2回中止)	219名
おりがみ教室	2月 (全2回)	折り紙の基礎と小物入れ作り。 講師：福田 進一氏	35名
太巻き祭り寿司	3月 (全2回)	房総太巻き作り。 講師：小泉 密江氏	23名

③ 児童館

児童に健全な遊びを提供し、健康の増進及び体力の向上を図るとともに、情操を豊かにすることを目的として各種の事業を実施した。

ア) 月別利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H22度計	H21度	増減
児童	626	554	792	862	994	888	770	630	555	537	595	372	8,175	8,678	▲ 503
保護者	426	456	594	579	583	705	582	671	430	409	482	256	6,173	5,537	636
合計	1,052	1,010	1,386	1,441	1,577	1,593	1,352	1,301	985	946	1,077	628	14,348	14,215	133

イ) 子育て支援事業(ポヨポヨクラブ・ひよこクラブ)「毎週火・木・金曜日」

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H22度計	H21度	増減
ポヨポヨクラブ	232	256	419	426	429	377	372	380	226	317	347	207	3,988	3,353	635
ひよこクラブ	168	230	285	175	0	222	217	222	149	166	185	117	2,136	1,861	275
ふたごっちクラブ	39	0	39	30	0	27	28	0	39	0	25	27	254	245	9
合計	439	486	743	631	429	626	617	602	414	483	557	351	6,378	5,459	919

幼児を持つ保護者を対象とし、育児についての情報交換や仲間作りの場を提供することにより、育児に関する不安の解消を図るために実施した。毎週木曜日は、特に3ヶ月から1歳頃の乳幼児と保護者を対象に「ひよこクラブ」として実施した。

※ 8月は学童夏休みの為ポヨポヨクラブのみ実施

ウ) 子育て支援事業 「毎週水曜日」

ボランティアによる絵本の読み聞かせやリズム遊び等を取り入れた子育て支援を実施した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H22度計	H21度	増減
英語で遊ぼう	86	90	47	43	0	72	65	43	36	50	73	42	647	478	169
ママといっしょ	39	47	45	0	0	48	58	35	0	31	29	0	332	307	25
合計	125	137	92	43	0	120	123	78	36	81	102	42	979	785	194

※ 8月は学童夏休みの為中止

エ) 企画事業「毎週土・日曜日」

児童自らの手で作り、描き、物事を演じる楽しさを味わうことにより、情操を豊かにするとともに、集団活動を通じて協調性及び責任感を認識させるために実施した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H22度計	H21度	増減
参加者	105	49	113	122	141	118	117	42	55	86	112	18	1,078	1,802	▲ 724

オ) 図書貸出状況

児童の情操の向上に寄与するもの及び子育てに関する図書の閲覧、貸出を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H22度計	H21度	増減
登録者	9	7	7	14	18	11	15	14	3	13	4	1	116	120	▲ 4
貸出(冊)	125	112	173	223	235	296	358	298	51	216	157	90	2,334	2,082	252

カ) 年間事業実施状況

事業名	期日	内容	参加者
自然観察会	5月8日 10月24日	自然に親しみながら情操を豊かにすることを目的として実施した。 講師：柳池繁氏・田中義和氏	児童 25名 保護者 28名
陶芸教室	1月29日 2月26日	児童自らが創造し、自らの手で作る楽しさを体験することを目的とし、小物入れ・置物作り等を行った。 講師：佐久間幹男氏	児童 29名 保護者 1名
ヨガ教室	5月23日 11月27日	ヨガを通して情操を豊かにし、より親子の交流を強めることを目的として実施した。 講師：浜 賢太郎氏	児童 18名 保護者 15名 ボランティア 2名
おもしろ実験教室	8月7日	児童自らが創造し、自らの手で作る楽しさを体験す	児童 30名

		ることにより情操を豊かにするとともに集団活動を通じて協調性及び責任を認識させることを目的として実施した。 講師：市原袖ヶ浦少年少女発明クラブ	保護者 29 名
アネッサ発クリーン大作戦	1 1 月 2 0 日	施設利用者と地域住民とで行う地域の清掃活動に参加することでボランティア活動への意識を高めることを目的として実施した。 (地域福祉センターと共催)	児 童 16 名 保護者 2 名
世代間交流事業 卓球教室	8 月 1 日 8 月 8 日 3 月 6 日	高齢者の卓球グループの方々を講師として卓球教室を開催することで、世代間の交流を図ることを目的として実施した。(地域福祉センターと共催) (※3月13日震災のため中止)	児 童 71 名
絵手紙で年賀状	1 1 月 2 8 日	児童自らの手で作る楽しさを体験することにより活動する喜びを味わい情操を豊かにすることを目的として実施した。 講師：向井 艶子氏	児 童 10 名
中高生ボランティアによるジャグリング	8 月 8 日 1 月 3 0 日	創作活動であるジャグリングの発表の場としてジャグリング教室を実施した。 市原 Jug Jug	児 童 15 名 保護者 7 名 ボランティア 4 名
料理教室	1 2 月 1 9 日 2 月 2 7 日	児童自らが創造し、自らの手で作る楽しさを体験することにより情操を豊かにするとともに集団活動を通じて協調性及び責任を認識させることを目的として実施した。 講師：桜井 登代氏	児 童 28 名 保護者 23 名
昔あそび	6 月 1 3 日 9 月 5 日 1 1 月 2 1 日 2 月 1 3 日	ボランティアとの交流を図りながら、昔から傳承されている子どもの遊びを楽しみ、交流を図るために実施した。(地域福祉センターと共催) シルバー友の会	児 童 89 名 保護者 59 名
食育座談会	1 1 月 1 8 日	食について日頃の悩みなどを話し合い、食の大切さを学ぶとともに、食に対する適切な情報提供を行うことを目的として実施した。 栄養士：1 名	児 童 14 名 保護者 6 名
こどもトールペイント教室	3 月 5 日	児童自らの手で作る楽しさを知り情操を豊かにするとともに、協調性・責任感を認識させることを目的として実施した。 講師：黒川美智子氏	児 童 12 名
親子防犯 「交通安全教室」	6 月 3 0 日	乳幼児をもつ保護者が日常における交通マナーの基礎知識を習得し、交通安全に役立てることを目的	児 童 18 名 保護者 15 名

		として実施した。 生活安全課	支援員 4 名
母親クラブ 「救急法」	9月14日	乳幼児を持つ保護者が家庭内における突発の事故に対処するための基礎知識を習得することを目的として実施した。 市原市消防団・姉崎消防署	児 童 49 名 保護者 49 名 支援員 4 名
合同 クリスマス会	12月22日	未就学児とその保護者が安心して過ごせる場所を提供し、子供の成長と子育てに悩む保護者同士の交流の場として利用されることを目的として実施した。	児 童 110 名 保護者 88 名 支援員 4 名

(6) 三和保健福祉センター管理経営事業

① 地域福祉センター

地域住民及びボランティア等の民間福祉団体の福祉活動の拠点として、各種福祉情報の提供を総合的に行い、もって地域住民の福祉の高揚を図った。

ア) 月別利用状況[貸室]

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H22度計	H21度	増減
ボランティアルーム	379	341	312	348	348	447	428	311	375	390	419	146	4,244	3,917	327
研修室	207	162	172	171	215	152	274	242	202	350	191	99	2,437	2,713	▲ 276
多目的ホール	759	593	631	675	663	709	680	669	613	581	594	278	7,445	7,810	▲ 365
創作活動質	150	110	163	108	146	180	199	149	157	216	112	71	1,761	1,149	612
合 計	1,495	1,206	1,278	1,302	1,372	1,488	1,581	1,371	1,347	1,537	1,316	594	15,887	15,589	298

イ) 年間事業実施状況

事業名	期 日	内 容	参 加 者
おもちゃ図書館	4月～3月 毎月第2・4 土曜日	障がい児と未就学児を対象に、おもちゃで遊ぶことを通して心身の健全な発達を促すとともに、保護者同士の交流を図ることを目的として、ボランティアグループ「かるがも」の運営により実施した。また、クリスマスには「人形劇Z」による公演を実施した。	773 名
ふれあいいきいきサロン	4月～3月 (全 11 回)	三和地区在住の 65 歳以上の方を対象に、趣味活動や健康体操等を実施し、住民同士の交流やつながりを深め、高齢者の孤立化と寝たきりの予防を図った。	103 名
さんあーとくらぶ	4月～3月 (全 11 回)	障がい児者を対象としたボランティアによる絵画教室を実施した。 講師：向正之氏	32 名
フレンズ	4月～3月 毎月第1・3 木曜日	発達の気になる未就学児を対象に、遊びの場と機会を提供し、遊びを通して健全な発達を促すとともに、保護者同士の交流を目的として、発達支援センターとボランティアの協力を得て実施した。	487 名
さんほっと	4月～3月	サンハートを利用する幅広い年代の人たちが出会う場、交	102 名

		流する場、楽しむ場としてフリースペースを提供した。	
地域交流事業	8月28日	サンハート利用者や地域住民を対象に、ボランティアの協力により流しそうめんとおひけ屋敷を実施した。	150名
子育て応援サポーター養成講座	11月1、14日	心にゆとりをもって子育てができるよう、地域で子育てを支えてくれる子育て応援サポーターを養成することを目的として実施した。	32名
第1回ベビーマッサージ教室	7月9日 7月16日	マッサージによる親子のふれあいや参加者同士の交流をとおして、楽しい子育ての時間を過ごしてもらうことで、母親の子育ての不安感や孤独感を軽減することを目的として実施した。講師：島津一恵氏	32名
第2回ベビーマッサージ教室	3月2日	マッサージによる親子のふれあいや参加者同士の交流をとおして、楽しい子育ての時間を過ごしてもらうことで、母親の子育ての不安感や孤独感を軽減することを目的として実施した。講師：島津一恵氏	18名
ふれあいレクリエーション	11月23日	在宅の障がい児者が野外でのびのびと過ごす機会をつくるとともに、青少年ボランティアの育成を目的として、葛西臨海水族館と羽田空港の見学を実施した。	84名
介護予防教室	1月20日	福祉についての関心を深めの、講和及び予防体操を実施した。	29人
第1回世代間交流事業	6月25日	三和保育所との共催で、60歳以上の市民と児童による異世代間の交流、触れ合いを目的として、工作を実施した。講師：市原ものづくり村	31名
第2回世代間交流事業	10月29日	三和保育所と共催で、60歳以上の市民と幼児による世代間の交流、ふれあいを目的として、スポーツ大会を実施した。	37名
年末地域ごみ拾い運動	12月4日	地域住民やサンハート利用者が協力して清掃活動を行うことにより、交流を図りながら地域の環境美化を実践し、併せてボランティア活動の啓発を図ることを目的として、サンハート周辺のごみ拾いを実施した。	155名
サンハート祭り	1月23日	地域住民の交流を図るとともに、サンハートの周知、利用活性化を図ることを目的として、餅つきや作品の展示会、バリアフリースポーツ等を実施した。	400名

② 老人福祉センター

地域の高齢者が集うことにより、社会的孤立感の解消、身体的及び精神的な負担の軽減を図るとともに、健康で豊かな心で生きがいのある生活ができるよう各種教室を開催した。

ア) 月別利用状況[貸室]

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H22度計	H21度	増減
大広間(団体)	29	19	10	45	80	38	66	48	32	442	69	67	945	1,120	▲ 175
大広間(団体)	1,786	1,684	1,453	1,221	821	799	934	726	589	679	834	276	11,802	18,773	▲ 6,971
和室	66	55	121	106	45	72	74	97	65	41	89	32	863	1,188	▲ 325
男性浴室	1,396	1,200	1,411	1,360	1,293	1,253	1,498	1,288	1,346	1,255	1,529	645	15,474	15,677	▲ 203
女性浴室	882	790	898	823	722	776	916	767	811	795	1,013	452	9,645	10,161	▲ 516
生活相談室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4,159	3,748	3,893	3,555	2,961	2,938	3,488	2,926	2,843	3,212	3,534	1,472	38,729	46,919	▲ 8,190

イ) 年間事業実施状況

事業名	期日	内容	参加者
第1回布ぞうり作り教室	4月23、30日	趣味と仲間作りを目的として、布ぞうり作り教室を実施した。 講師：市津婦人会	31名
第2回布ぞうり作り教室	5月21、28日	趣味と仲間作りを目的として、布ぞうり作り教室を実施した。 講師：市津婦人会	21名
ヨガ教室	12月～1月(全8回)	健康維持と仲間作りを目的として、ヨガ教室を実施した。 講師：浜賢太郎氏	108名
書道教室	6月16、23日	書道を通じて高齢者に趣味活動と交流の場を提供することを目的とし実施した。 講師：池田佐代子氏	20名
ピラティス教室	2月～1月(全6回)	健康維持と仲間作りを目的として、ピラティス教室を実施した。 講師：中野真弓氏	103名
絵手紙教室	12月(全3回)	趣味と仲間作りを目的として、絵手紙教室を実施した。 講師：向井艶子氏	32名
オカリナ教室	10月～11月(全3回)	趣味と仲間作りを目的としてオカリナ教室を実施した。 講師：木村静子氏	25名
フラダンス教室	1月～3月(全8回)	健康維持と仲間作りを目的として、フラダンス教室を実施した。 講師：ローズメリー荒井氏	42名

健康体操教室	1月～2月(6回)	高齢者の健康づくりを目的として、実施した。 講師：大前陽子氏	83名
--------	-----------	-----------------------------------	-----

③ 児童館

児童に健全な遊びを提供し、健康の増進及び体力の向上を図るとともに、情操を豊かにすることを目的として各種の事業を実施した。

ア) 月別利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H22度計	H21度	増減
児童	680	502	646	971	1,038	878	765	569	475	679	571	263	8,037	8,559	▲ 522
保護者	434	326	450	561	619	581	530	413	356	481	434	197	5,382	5,724	▲ 342
計	1,114	828	1,096	1,532	1,657	1,459	1,295	982	831	1,160	1,005	460	13,419	14,283	▲ 864

イ) 子育て支援事業

a) さんさんくらぶ「毎週火曜日(学校の長期休暇期間を除く)」

乳幼児をもつ保護者を対象とし、育児についての情報交換や仲間作りの場を提供することにより、育児に関する不安の解消を図ることを目的とした児童厚生員による子育てクラブを

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H22度計	H21度	増減
参加者(組)	165	116	260	214	321	216	200	149	50	142	168	88	2,089	3,335	▲1,246

b) 英語で遊ぼう「毎月第3水曜日(学校の長期休暇期間を除く)」

幼児と保護者を対象とし、英語の歌に合わせた踊りや、手遊びなどを通じた親子のふれあいを目的としたボランティアによる子育てクラブを実施した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H22度計	H21度	増減
参加者(組)	11	14	12	21	30	2	12	6	6	16	8	0	138	211	▲ 73

ウ) クラフト&プレイ「毎週日曜日」

児童自らの手で作り、描き、物事を演じる楽しさを味わうことにより、情操を豊かにするとともに、集団活動を通じて協調性及び責任感を認識させるために実施した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H22度計	H21度	増減
参加者	42	55	31	91	70	71	99	56	48	58	96	22	739	592	147

エ) 子どもボランティアクラブ「毎月第3土曜日」

児童を対象に、ボランティアの育成を目的として、子どもボランティアクラブに登録してもらい、パネルシアターの作成、発表等を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H22度計	H21度	増減
参加者	4	3	2	2	1	2	2	3	72	3	7	7	101	58	43

1月24日：サンハート祭りにおいて、パネルシアター発表会

3月6日：高齢者施設「三和の里」において、パネルシアター発表会

オ) 放課後クラフト「毎週火～金曜日(学校の長期休暇期間を除く)」

小学生の放課後の居場所づくりを目的とした工作教室等。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H22度計	H21度	増減
参加者	22	3	7	21	2	0	7	0	0	0	0	0	62	29	33

カ) 図書貸出状況

児童の情操の向上に寄与するもの及び子育てに関する図書の閲覧、貸出を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H22度計	H21度	増減
新規登録者	13	4	10	29	22	13	18	10	9	5	10	2	145	176	▲ 31
貸出(冊)	331	255	355	397	520	390	415	393	322	328	340	154	4,200	5,174	▲ 974

キ) 年間事業実施状況

事業名	期 日	内 容	参加者
フラワーガーデン	6月～7月	花の種蒔き及び水やり	11名
裂き織りクラフト	7月24日	裂き織りのコースター作り 講師：鳥海真樹子氏	5名
夏休み子ども布ぞうり教室	8月6日	布ぞうり作り 講師：市津婦人会	12名
夏休み子どもフラ教室	8月17日	フラダンスを踊る 講師：ローズメリー荒井	9名
夏休み子どもビーズ教室	8月28日	ビーズでストラップ作り 講師：中西賀代子氏	17名
お話会	6月27日 8月15日 12月12日	パネルシアターと紙芝居	33名
知って良かったママの救急法	10月14日	乳幼児のケガや誤飲などの手当の仕方実技指導 講師：市原市中央消防署員氏	21名
レッツ・メレ・フラ	11月16日	親子でフラを踊る 講師：ローズメリー荒井	20名
人形劇	12月21日	「とんとん」による人形劇上演	37名

④障がい者福祉センター

障がいを持った方に対し、社会との交流促進や余暇支援のための便宜を提供し、福祉の増進を図るための事業を実施した。

ア) 月別利用状況[貸室]

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H22度計	H21度	増減
研修室	310	265	371	527	212	405	419	438	441	240	444	137	4,209	4,437	▲ 228
プレイルーム	458	281	338	474	385	519	437	460	746	428	540	150	5,216	5,575	▲ 359
障がい者談話室	458	281	338	474	385	519	437	460	746	428	343	150	5,019	5,575	▲ 556
療育相談室	43	20	101	30	20	17	45	29	44	59	56	25	489	263	226
合 計	1,269	847	1,148	1,505	1,002	1,460	1,338	1,387	1,977	1,155	1,383	462	14,933	15,850	▲ 917

イ) 工作教室「全11回」

障がい者を対象とした壁飾り等の作成

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H22度計	H21度	増減
参加者	9	10	6	5	5	3	4	4	4	4	5	5	55	55	0